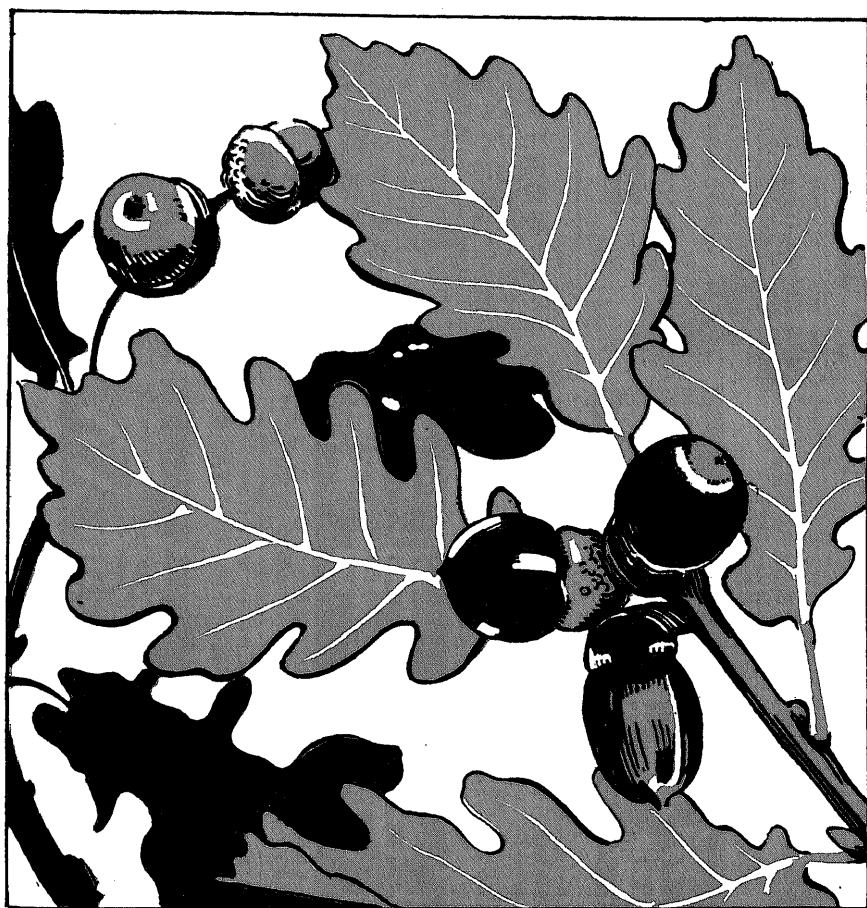


幼 児 の 教 育

第 三 十 七 卷 一 月 一 號 第 一 號



東 京 女 子 高 等 師 範 學 校 內
日 本 幼 稚 園 協 會

廣島文理科 應用心理研究會編

應用心理研究特輯號

應用心理學論文集

最新刊 菊判洋裝 全一冊紙數貳百八十頁 定價壹圓五十錢 送料十四錢

心理學が醫學、文學、思想、教育、社會問題等、各方面に有する關係の深きは驚くべきもので、最近のそれは學窓より街頭に出て直接生活に必須のものとして極めて實際的問題となつて來た。雜誌「應用心理研究」は之等の必要に基き一は諸大家が心血を注がれたる、研究の發表機關として、他面一般社會の心理學應用の理解を深からしめんが爲、創刊以來既に卷を増大號として公にする事の出來たのは、小館の最も誇とする所である。

應用心理研究 現代應用心理學概観

定價一圓廿錢 送料十四錢

內容目次

勞働による眼調節機能の變化 高橋 春藏
 性格と時間意識 牛島 義友
 未教育兒童に試みた筆順研究 中田 道保
 外國統計裁期の編成に就き 山口 定雄
 男根統制に見えたる心中 小日向 義雄
 産業心理學研究の近況 上野 義雄
 我國職業指導の現狀 我國近近犯罪心理學的側面
 新體教育運動の心理的動機 檢査に試みた各種テストの分析
 我國應用心理學書目録 古久松 保三 石井 俊小
 松井 三雄 行良 義雄

發兌 東京市牛込區 振替東京三八四二七 中文館書店

廣島文理科 大學教授 文學博士 久保良英著

形態心理學

●菊判洋裝全一冊・定價三圓五十錢・送料廿一錢
 形態心理學の出現と共に心理學界は一大センセーションを巻き起して居る。彼等はヴントやセームスの如き巨匠に依りて建設された心理學の大殿堂を根底から覆さんと試み、在來の心理學とは全く異つた見地から精神現象を見直さんと企て、居る。今形態心理學の紹介に迅速く努力しつつありし久保博士に依り初めて本書が公にせられた。

精神分析學

●菊判洋裝全一冊・定價四圓・送料二十一錢
 心理學の分野に於ても我等に最も興味深きものは精神分析學である。のみならず之れが應用的方面に於ては殆んど無盡藏と謂ふべく少くとも形而上の諸科學の中に在つては第一位にある。特殊に最近斯學が教育界に瀾らした影響の甚大は特筆すべきもので、性教育の根本的解決などに付ては勿論學校教育家他總ての文化人の必讀を乞ふ。一般心理學徒は勿論學校教育家他總ての文化人の必讀を乞ふ。

實驗心理學精義

●簡單篇 定價六圓八十錢 複雜篇 定價六圓
 送料二十七錢 送料廿七錢
 本書は實驗心理學が開拓した所とはせんとする所を広く各種の行動の士體験上斯學者の最も興味を失はぬ様實質的量的兩者交互に説述せられた。現代の實驗心理學の最新研究を學べ一切發表したアツツブツデーのたるものたる事は勿論特に兒童の心理實驗に力を注いだ。

保姆生徒募集

一、募集人員 五十名

一、出願期限 二月一日ヨリ三月二十日迄

規則及入學案内ハ二錢切手ヲ同封シテ請求セラル、カ又ハ山手線

目白驛前目白幼稚園ニ就キ承合セラレタシ

淀橋區下落合三丁目一、三八八

東京目白保姆學校

電話落合長崎二、五五九番

生徒募集

東京府
知事認可

貞靜學園保姆養成所

一、生徒定員

四拾名

一、入學資格

高女卒修業年限一ケ年

◎本養成所特點

無試験にて免許狀下付さる

1、教育方針

畏くも皇室中心主義にして人物養成を主眼とし主婦とし母としての準備教育を施すを以て目的となす

2、附屬幼稚園あり

理想的附屬幼稚園ありて養成所生徒の實習に使ならしむ

3、教職員

有資格者にして斯道に經驗ある優秀なる權威者揃ひ

◎就

職率

勿驚 一〇〇パーセント

二十人中 全部市内奉職

申込期限

自昭和十二年一月八日 至同年四月二日

規則書郵券二錢要す

東京市小石川區大塚町六九

電話大塚(86)六七二〇

電停大塚窪町

學園長 高橋滿喜

生徒募集

定員 四十名

願書締切 三月二十五日

佛教保育協會保姆養成所

東京市中野區宮前町四八(電中野五八七〇番)

一、帝都の名刹寶仙寺境内(交通は省線東中野驛下車乃至新宿より西武電車若くは青バスにて寶仙寺前下車です)
に有り敷地一千餘坪四圍綠林に圍まれた靜寂な環境で同寺經營の中野高等女學校及感應幼稚園に隣してゐます

生徒募集

募集人員 七拾名

出願期限 自二月一日 至三月末日

○入學手續ヲ簡易ニ改メタリ

○入學試驗ヲ要セズ 提出書類ニヨリ詮衡ノ上直チニ許可書ヲ送付ス

○無試験檢定ニヨリ保姆免許狀ニ受クル特典アリ

○寄宿舎ノ設備アリ

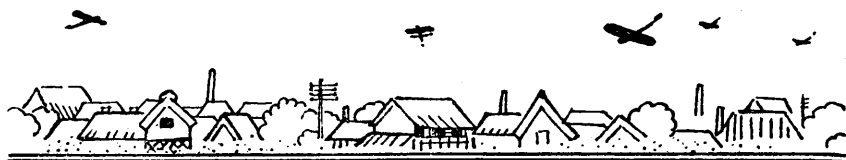
規則書入學案内ハ二錢切手封入申込マルベシ

東京市品川區大井原町五二〇八(省線大井町驛ヨリ城南バ
スニテ原停留場下車二分)

東京昭和保姆養成所

所 長 土 川 五 郎

顧問兼講師 倉 橋 惣 三
東京女子高等師範教授



第 一 號 幼 兒 教 育 第 三 十 七 卷

— (次 目) —

口 繪

健康—保姆諸君と語る(一)……………倉橋惣三(一)

子ぎもこ音楽に就いての感想……………信時潔(四)

幼年
童話床屋さん(二)……………武田雪夫(九)

イギリス保育發達史(一)……………白根孝之(二三)

フレーベル先生の遺跡を訪ひて(二)……………高市慶雄(二五)

簡單に出来る
繪本應用紙芝居の作り方……………内山憲堂(三)

公開保育を終つて……………山村きよ(元)

系統的保育案の實際解説……………(四)

生活訓練……………倉橋惣三

誘導保育……………菊池ふじの

唱歌遊戯……………村上露子の

談話……………新庄よしこ

觀察……………小島光子

手技……………及川ふみ

保育育讀本 育ての心

著 先生 三惣橋倉

東京女子高等師範
附屬幼稚園園長主事

忽十版

身も心も打ち込んだ子供の導き

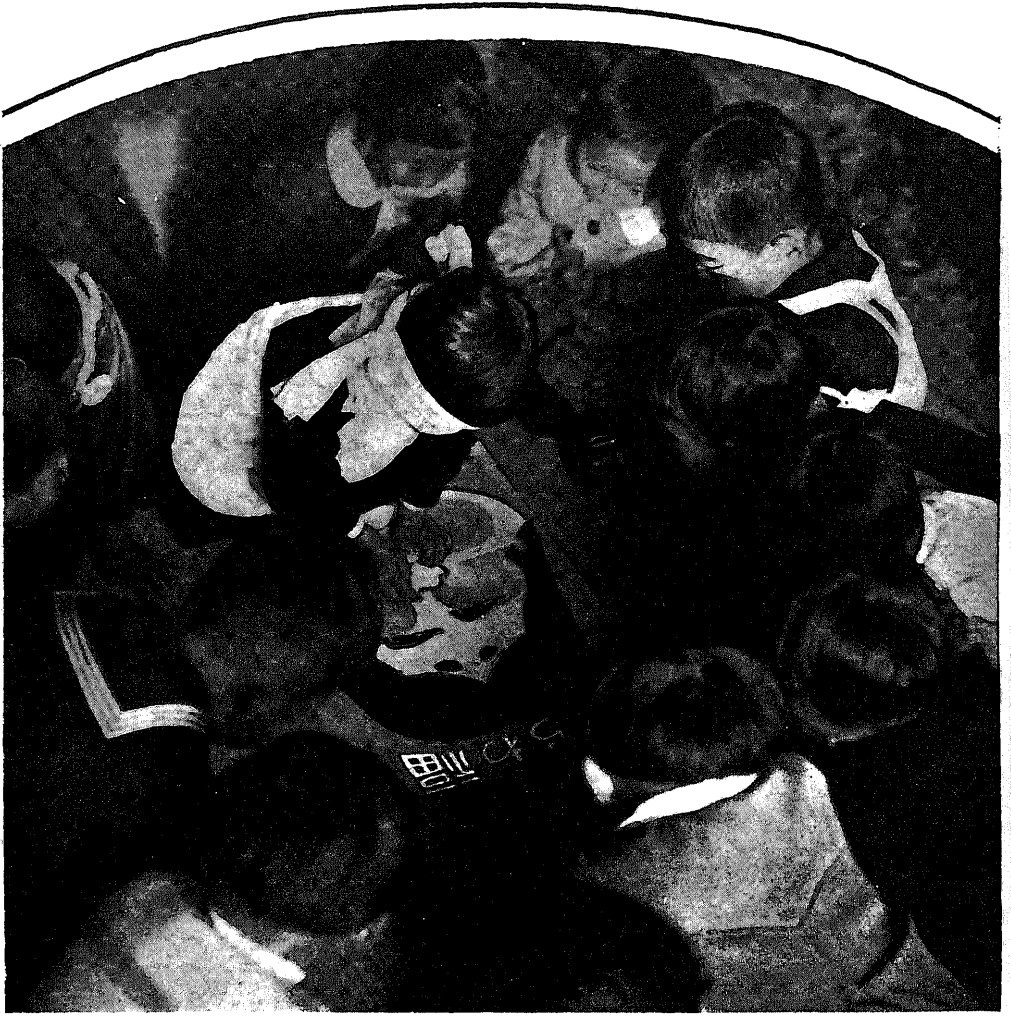
清新珠玉の如き保育の眞諦!!

倉橋先生の尊い経験の上に立つ保育讀本。而も學理を實踐に遷し、實踐から學理を生んで、たゆみなき精進に、寧日もなき先生が生み出されたこの書は、我が國幼兒教育界の非常なる幸福である。而も文脈醇澄にして盡くるなき、うるはしき文體には、子供を導き教へようとする人々の胸に、限りなき樂しさと盡くるなき味ひとを感じさせずにはおかない。蓋し不朽の生命を有つ名著として、子供を持つ人々の心に、永遠の至幸を齎らさしむるであらう。

——四六大判四〇〇頁・アイト刷名葉十二葉入り美裝・價一・五〇——(内容見本)

内容の一斑	子供達を送る日	飢えと寒さの子等
子ども達の中にあつて	詫びる心	母ものがたり
子どもの心のはた	自ら責める心	母の誕生・母の成長
佛心と童心	教育される教育者	あまい母・からい母
人間教育	創意なき教育	ほいほい子問題
小さき太陽	自らを新たにする教育	子どもの癖しらべ
にじみ出る眞實性	感情の清算	子どもの心
まめやかさ	この萌芽に對して	いろいろの子供
こゝろもち	春風秋雨	子どもの相手
ひきつけられて	美しい田舎の子供の夏	行童の子ども
飛びついて来た子ども		

東京・神田・駿河臺
刀江書院
電話 三三九一
電話 三三九一
電話 三三九一
電話 三三九一



幼 児 の 教 育

昭 和 二 十 年 一 月

健 康

——保姆諸君と語る—— (二)

倉 橋 惣 三

皆さんのために、何が一番ほしいものかといへば、それはいふまでもなく健康である。世の中でどんな働きをするにも、それに耐える健康がなくては出来ないが、相手が幼い子ぎもである場合、その人の健康は一層強いものでなければならぬ。單に耐えられるといつた程度のものでなく、働いてもくゞ疲れないといつた積極的の健康でなくてはなるまい。

幼稚園さいふものを外から想像してゐる人は、保姆さいふものゝ働きを、世にもらかなこごに考へたりする。小さい子ぎも達を遊んでゐる呑氣至極くのこごに思つたりする。しかし、あの元氣潑瀾たる幼児さいつしよに、否、その先きに立つて馳けもし飛びもして休む間もない働きは容易のこごでない。幼稚園の實際を知つてゐる人達がよくいふこごであるが、小學校の先生には休憩時間があり、あき時間さへあるが幼稚園の先生にはそれが無い。全然ない。これでは身體がつゞくまい。實際その通りであつて、充分健康の人でなくてはその勞に耐えてゆけないのである。

しかも、身體の疲れが多いばかりではない。たゞそれだけでいゝならまだらくなこゝである。幼稚園の先生は、あの小さい子達を相手にして、それはく無限の心疲れをする。ちよつこだつて目を離せない。次から次へハラ／＼するやうなこゝが起る。うっかりしてゐられないのである。相手にしてゐるだけならまだいゝ。あの小さい人達の相手になつてゆく氣疲れは、経験したこゝのない人には察しもつかない程である。馳けたり飛んだりしてゐる時ばかりではない。氣樂くさうに立つてゐる時でも、心は小やみなく働いて居り疲らされてゐる。

そればかりではない。その心身の大きい疲れの中で、聊かでも疲れたやうな顔をしてはならぬのである。肩一つしかめてはならぬのである。それには、疲れないさゝ以上には、しじゆう健康があり餘つてゐなければならぬ。いくら馳け廻つても、子ぎも達にせつつかれても、いつでもおつりの出る健康でなければならぬ。そうでないさ、あなたがつらい以上、子ぎも達がつまらない。

「先生お早う」。張りきつた一ぱいの元氣の聲。

「そうねえ、早くて寒いのねえ」。トーカーでないから、聲の弱々しさ、いきの抜け加減は出てゐないが、こんな受け答へをされては、子ぎもはがつかりして仕舞ふ。大げさにいへば、その一日の人生がすつかりつまらなくされて仕舞ふ。

但し、ほんさうは、子ぎもはそんな位ゐるのこゝで弱らされはしないが、「だめだ。あんな氣力のない先生なんか。相手にしたつてつまらないや」。さいつたこゝにならないさも限らない。先生は大切にいたわられてゐるのだと思つても、つまりは子ぎもから除け者にされてゐるのである。——幼稚園は子ぎもの世界である。その子ぎも達からポイコットされたんでは、幼稚園保母はさこへゆく。

こんな譯でさゝいふ譯でもなく、保母諸君には、健康は大事なもゝである。少々下品な言葉使ひで相濟まんやうでもあるが、もゝで、さゝいふのに意味がある。もゝで、さゝは「へる」ものでもあるが「ふえる」ものでもあり、そして、幼稚園さゝいふこゝ

ろは、そのも、で、をふやす筈のミころだからである。忙しいミいつたつて、心づかひが多いからミいつたつて、日々接してゐるものは、あの元氣な幼児達である。生命のゾーンが一ぱいに漲り、歡喜のエマナチオンが絶えず發生してゐる、天下第一の健康地帯である。そこには變に氣をくさらせ、妙に心をもつれさせるやうな、健康上何より有害な毒素は一つもない。そこで、普通の健康のも、で、さへもつてゐれば、それがぐんぐん増進されてゆくのである。しかし、若しそのも、で、の基礎がしつかりしてゐなかつたら、又、も、で、の融通がよくきいてゐなかつたら、さうしたつて喰ひ込まれてゆくのである。幼稚園といふミころでは、健康をそうつミ仕舞ひこんで置いたり、ケチ／＼出し惜しみしたりしてゆけるミころではない。惜し氣なくさん／＼投資して、ふやすかへらすか、やつてみなければならぬミころである。

そこで、此の幼稚園といふ劇しい愛の戦場で活動する人は、豫め先づ健康のも、で、を充分もつてゐる人でなければならぬ。ないミ共に、たえずそのも、で、を貯へてゆくこに意を用ゐるなければならぬ。幼児の中では、要るだけのものを、かたつばしから、ふんだんに消費しなくてはならないのであるから、それだけ健康貯蓄の蔭の苦心が必要な譯である。

幼稚園でめざましく働くか働かないか。それはその場になつての氣の入れ方だけでは出来ない。勿論、氣の入れ方も大事で、それさへないのはお話にならないが、問題は働く働かぬではなくして、働けるか働けないかである。そして、それは一つに、健康保全に對する、平生不斷の心がけ如何にある。之れを他の言葉に移していへば、幼稚園での働きの立派な保母は、斯うした人知れぬ苦心に、常にその健康を大切にしてゐる人々だといへる。

年も新らしくなりました。愈々益々お身御大切に。あなたの身體ではない。幼児達に與へなければならぬ健康だから。

子どもと音楽に就いての感想

東京音楽學校教授 信 時 潔

あそびの氣持がその生活の殆ど全面を貫いて居る子どもの世界では、音楽も相當の役目を果して居る。音楽の原始社會に於ける起源を示唆する色々な現象を子どもものくらしの内に見出すことは他の事柄に就いてと同様に誰もか思ひつくことであらう。おそらくこの國の人でもその生涯の最初にきくであらうところの子守唄は種々な形で音楽の一領域をなしてゐる。お伽噺の中でも唄めいたものや囃言葉は子どもの興味を活潑にし話の筋の要約に一役を勤めて居る(かちかち山、ぶんどく茶釜、等)。お伽噺そのものが童謡のよき題材であることはいふまでもない。おにがっことは先づ「おにがっことするものよつこいで」のうたで召集せられ、歸途のマーチをして「蛙がなくからかへろ」が唄はれるまで次々を轉化して行く遊戯のコースで「じゃんけんぼんよ」「かごめかごめ」「せつせつせ」「こはま」はこの細道ぢや「おしくらまんぢう」等々は動作を緊密な關係で歌が必要とされる。自然の現象に對してもすぐ歌が出る「夕やけこやけ」「雪やこんこん」「雨こんこんやんざくれ」等で現象を楽しむ氣持や希望や思慕の念が吐露される。幼兒の學校でつこには唱歌がつきものである。その外友達や家の者への實用的な言葉でも音楽的に強調されるこごが少なくない。「ハールチャン、アソビマセウ」「モーイーヨ」等々。勿論これらは聲を延ばすこごによつて目的の達成に便する自然の發達であり、頭腦や發聲器官の發達の程度にも關係があり、又女の子により多いこごでもあらうが、芝居のせりふや狂言のはなし方を思はせるものがある。樂隊の行進について行きたい衝

動を感じない子きもは少なく、チンドン屋から囃子をぬけば子きも等への魅力は著減するであらう。玩具に樂器その他何等かの音の興味を持たせたのは相當に多い。然しこんな事をこの上ならべたてるのは恐らくこの雜誌の讀者諸君にはむだであらう。病氣、不健康、聽官や發聲器官の缺陷、特異な心性等に由來する音樂の嫌惡無關心も教育上大事な題目であらうが、普通の子きの場合長上のしつけない子きもの環境の特殊事情の影響も一考に價すると思ふ。この家でも子きもが餘り唄つてばかりるたり太鼓をたきづめでは迷惑である。嚴格な家庭では口笛は御法度である。これは生活の秩序の爲め無理のない事であり、つきつめて考へればその國その時代の大人の生活に於ける遊戯や藝術の全生活に對する均衡ミ制約ミを反映するものであらう。

○

そこで話はやゝ外れるやうだが、子きもの世界は結局色々な意味で大人の世界の鏡であるから今の日本の大人を主とした社會の耳の文化に就いて考へて見たい。都會の騒音の防止整理は近頃漸く問題にされるやうだが、看板、廣告、電飾、裝幀等が旅行者にまつてその國の目の文化の水準を知るに便利なやうに、街頭の音樂や騒音防止の實狀はその社會の耳に對する關心ミ神經ミを察するに便利である。鍋釜のひゞの有無を耳で檢べたり船體の銜つけの良否をハムマーで打つて檢査するが、飛行機の發動機の檢査調整に爆音をきゝわけける事が大切で飛行中の故障の豫防に役立つ、その識別能力は飛行家の資格の一つも云ひ得る由である、その方面の我國の實狀を聞いたこともある。國語の教育にアクセントの事が前面に乗り出して來たのは近年の事であり、大人の演説なきの現狀ではまだそれ程一般の注意ミ關心を認め難い。唱ふために詩歌がつくられる時その格調等に就いての作者の用意は我が國語の特殊性を考へに入れた上でも西歐の場合ミ比べて一般にはまだ大まかなやうに思はれる。我國現代の文學のうちで、或は一般の會話のうちで音樂はみんな風に取扱はれて

ふるが。又在來の邦樂に騒音的要素の多いこもその道の人の認めるこころである。その他社會的慣習や禮儀に於ける聽覺への顧慮の現状等を思ひ合せて見るこ、明治以來新たに立て直されて來た我國の耳の文化は少なくとも目の文化に對して遜色のあるこもは認めざるを得ない。それらは何等かの形で子こもの世界に反映し影響して居るわけである。併し乍ら時代の變遷と教育の進化の爲めに今の子こもの耳は大人のそれよりも往々訓練されて居り、少なくとも鈍磨されてゐないこもが屢々感ぜられる。そこに我國將來の耳の文化への希望を見出すわけである。

次に兒童の音樂教育に就いて考を進める前に實際子こもが如何様に音樂を受け入れ又こなして行くか云ふ事にふれたい。幼兒の唱ひ初めの時期はたゞ「あ、あ、」と發音の抑揚高低ミリズムの粗い模倣である。それ迄にも單純な音に喜んで他人の歌や音曲を面白がる事は充分認められる。少し言葉を話せる様になるこ歌詞への興味が加はる。この時期には智能の發育のつり合から往々歌詞が實行上の優位をしめる。音樂的感覚が著しく缺けて居る者いはゆる音痴に近い場合には他の事では立派な大人になつても唱歌は依然この状態に止まるのを見受ける。それから段々ミリズムや音程の判別と表現能力が確かなり精しくなり音域は廣まり表情力が加はるのである。

子こもがかなり確實に形や色を認識し三角四角こか赤青こかの感覺の基本的な意味を理解するやうに、簡單な和音の性質や音程の特質を案外早くから相當確實に把握し、今の大人が往々唯やかましく思ふだけでその役目と興味を理解しない伴奏を喜んだり、器樂曲の性格を相當正しく聽き分ける事はその道の人々のよくいふこころである。曲の良否に就いても子こもは吸收力が強いから、あてがはれたものは一應何でも覺えるが、少しく水い目で見るこ大體よい曲が選り分けられて長もちする。この點は一般音樂に對する大家の批判に似て居る。

教材。大體年齢別に教材の難易を分け得るまされて居るが、その判断に際して音程や拍子等の外形を器械的に目安にするま往々當らぬまがある。ままの音楽は單純で素直なのがよいまは明らかだが、それは目につきやすい外形にまはれてはならぬ。自然なよく出來た曲は個々の箇所が多少むづかしくまも覺えやすく、又、斷片的に見れば、易しい音程リズムばかりからできてゐてもちつまも面白くない爲にいつ迄もまも覺えられない曲もある。すべてよい曲は意味がはつきりましてゐてわかりやすくその程度なりに演奏もやさしいのが常である。鑑賞曲まなればこの事は更に顯著であつて、名家の作になる構成の複雑なオーケストラのマーチは簡易平凡なピアノ用のマーチよりも愛好されそのまも案外樂々ままねされるまは珍しくない。又同じ歌曲をまも大人も聲樂家も唱つて夫々面白く、勿論いづれも間違はずに唱ひ得乍らその上手さには際限のないまも藝事の一つまして當然である。ままの歌の歌詞が内容や用語から見ても易く親しみをもち得るものであるまはまより大切である。然し歌詞のわけが分らぬまでも音樂的によいまものは愛唱され後年その歌詞の意味がわかり文語の字句文法修辭等を覺えるのに役立つまもある、これは變則な事ましてもあながちに排斥できない。記憶しにくい事柄でも和歌の體等にまめるまが昔から行はれてゐるのは、格調さいふ音樂的な性質の利用であらう。

教しへ方その他。ままのうたは唱ひ方もできるだけ自然で素直でありたい。大人の考へで感傷的なあやをつけさせたり作りまのあまげなさを求めるのは警戒すべきだ。ふしや歌詞からくる自然な表情を越えてはならぬ。その爲にはよい曲を選ぶ事が何より大切である。今の幼稚園でみんな歌を教へてゐるのか餘り知らないのそれ以上はいひにくい古い

まゝころでは瀧廉太郎氏の幼稚園唱歌のうちになつてもよいものがあり、又他の外國の事はよく知らないが獨逸の子さも達はその點で惠まれてゐるやうに思ふ。まゝにかく子さものに時に接する音楽が一生の趣味の根柢をなすまゝを忘れてはならぬ。

大事な教具であるピアノの品質や調律またその全國の幼稚園への普及はみんなであるかも知りたい事である。又實行は中々むづかしいだらうが保姆の方々、特に主として音楽を擔當される人達の音楽上の素養技倆は少なくも今の中等學校の専科の先生より下であつてはならぬ筈だと思ふ。小學校で一年生の授業がむづかしいものさされて居るまゝや、幼稚園では音楽が仕事のうちの大切な位地を占めて居る事を考へるまゝが上にもよき先生が望ましい。

○

早教育。専門家をつくるための音楽の早教育は特殊教育として或點迄は避け難いのであらうが、それが往々危険な犠牲を胎んで居る事を忘れてはならぬ。本當に豊かな才能を内蔵して居る子さものは、周圍でそんなにせきたてずまゝも自然な機會を重ねて行くうちに、もつさはつきりした見込がたつものであり、又一生を賭ける仕事として餘り片輪な人間ではおぼつかない次第ゆゑ萬事無理があつてはならぬ。日本の現状から察して専門家の資格はぐんぐん高くなつて行く事を、それだから尙更早くから始めねばならぬまゝばかり考へるのは淺薄で危険だと思ふ。殊に女の子の場合は年頃になつての變化の激しいまゝも充分顧慮すべきである。

床屋さんごっこ（お母さん話）

武 田 雪 夫

さあ、このお話は、床屋さんごっこいふお話ですよ。

今日は、お父さまもお母さまも、朝からお出かけなので、久子さんはお姉さまご二人で、おさなくお留守居をしました。

お晝まへは、ねえやさんにもお仲間になつてもらつて、お人形さんごっこをしました。それから、おまごもして遊びました。

でも、お晝からは、ねえやさんも、ご用がありますから、こんごは、二人だけで遊びました。クレオンで晝をかいたり、それから、折紙を折つたりして、二人で仲よく遊びました。

そのうちに、二人だけでは、何だか、つまらなくなりました。何か、もつと面白いごっこはないでせうか。お姉さまも考へました。それから、久子さんも考へました。

さあ、ほんたうに、面白いごっこはないでせうか。

そのうちに、お姉さまが、よいこを思ひつきました。

お姉さまは、大きな聲で「元氣よく、

「あのね、床屋さんごつこをさせよう。さあ、早くあちらへ行きませうよ。よいひました。そして、お姉さまは、さんくお父さまのお室の方へ入つて行きました。

「さあ、お姉さまが床屋さんで、久子さんがお客さまよ。ですから久子さんは、このお椅子に腰をかけるのよ」。

久子さんは、お姉さまにさう言はれて、そのお椅子に腰をかけました。その間にお姉さまは、大いそぎで、かけ出して行きました。そして、すぐに白いお風呂敷を、お母さまが、久子さんたちのお洋服を作る時に使ふ大きな銚を持つて來ました。

お姉さまは、久子さんのお首のまはりに、白いお風呂敷を上手に巻きつけて、大きな銚を片手に持ちました。そして、久子さんのお髪をチヨキくさる真似をはじめました。

久子さんは、昨日、床屋さんへ行つたばかりですから

「あらく、お姉さま、ほんまにきつては駄目よ、だめよ」。さ言つて、お首をあらこちらへ振りました。さうするに、その時、お髪に銚の先が少しさりましたから、お姉さまは、うつかり銚を動かしました。チヨキくさ、耳のミころのお髪が、少しきれて、白いシーツの上にバラくさ落ちました。

久子さんは、びつくりして、

「いやよ、いやよ」。さいひながら、お椅子から飛び下りて、むかふのお室むかふの方へ、かけて行つてしまひました。そしてお姉さまが、

久子さん、いらつしやいな。もう、ほんたうにきらないから、早くいらつしやいな。

ミ、幾度もよんでも、もう久子さんは、さうしても來ません。

お客さまの久子さんに逃げ出されて、お姉さまの床屋さんは、人ぼつちになりました。それで、床屋さんごつこは、もうおしまひになつてしまひました。

そのうちに、お玄關の呼鈴が、チンノ／＼チンノ／＼と鳴りました。

おや、さなたでせうね。

お姉さまミ久子さんが、ねえやさんミしよに出て行つて見ますミ、それはお父さまミお母さまがお歸りになつたのでした。

お姉さまミ久子さんは、すぐに、

「おかへりなさい」。「おかへりなさい」。

ミ、よろこんで言ひました。それから少しして、二人は、お母さまミしよにお風呂に入りました。

お母さまは、久子さんのお首やお耳のミころを洗ひながら、びつくりしたやうに、

「おや、久子さん、こゝのお髪かみどうしました？」と、お聞きになりました。

久子さんは、小さな聲でいひました。

「あのね、今日、床屋さんでござつて、お姉さまがきつたのよ。」

すると、お母さまは、

「まあ、明日は、をばさまがいらつしやるさいふのに、こんなごころ、變な風にしてしまつて、困りますね。さうしませう」。と言つて、ちよつと考へていらつしやいましたが、すぐに、にこ／＼しておつしやいました。

「あゝ、さう／＼、これはよいごころがありますよ。明日は、こゝへ大きなおリボンをつけて上げませうね」。久子さんが、やつと安心して、

「おリボンつけたら、變なごころ、わからなくなるの？」とこいひますと、お母さまは、

「えゝ／＼、さうすれば、大丈夫よ。とおつしやいました。

その時、今までだまつてゐたお姉さまが、頭かぶを下げて、

「お母さま、ほんまにじめんなきい」。と、あやまりました。お母さまは、

「えゝ、もう、こんなごころしては、いけませんよ。大きなお鉢は、あぶないのよ」。と、いつて、にこ／＼し

ながら、お姉さまに、お湯をサアミ、はい、お背中からかけて下さいました。

それでは、これで、このお話はおしまひ。

イギリス保育發達史(二)

白根 孝 之

昭和九年十一月號の本誌に「英國に於ける幼兒保育の發達」を題する短文を公けにしてイギリスに於ける保育運動の沿革を極めて簡略に紹介したが、不備や脱落の點が少からず、何時か機會を得たら補正したいを考へてゐたところ、最近手に入れた「ハドロー委員會報告書」の第一章にこの部に關する十分信賴するに足りる材料が提供されてゐるので、之によりて宿望を實現させて頂きたいと思ふ。

世界大戰は歐米各國の教育に對して改革への大きな機會となつたが、イギリスに於いては一九一六年十二月フィッツシャーが文部大臣に就任して以來「大戰によつて明かにされたイギリス教育の缺陷の補綴修正を目的として」教育の一大改革に着手したが、一九一八年「兒童憲章」と呼ばれる有名な「フィッツシャー條令」を發して教育の全面的改革に一石を投じた。この條令は極めて廣範圍にわたる改革を意圖したもので、イギリス教育史上重大なる意義をもつものであるが、諸種の事情特に經濟上の理由から充分に實現出来なかつた。けれどもその影響を刺戟によりて爾後の英國教育界の改革運動はさみに活氣を呈し、相次いで多くの文獻が公けにされ、各種の改革委員會が設けられるにいたつた。その最も大きな結實がハドロー(Sir Henry Hadow)を委員長とする「文部省諮問委員會」(The Consultative Committee on Education)で、一九二四年二月に任命されたものである。委員會は諸外國並に英國に於ける過去及び現在の調査を基礎として先づ一九二六年「青年教育に關する報告書」をなし、一九三一年には「初等教育に關する報告書」を纏め上げ、同年から引きつゞいて「保育學校

及び幼児學級に於ける子供の訓練と教育とに關する考察をなし、その將來に關する意見を報告する任務をもつて活動を續け、一九三三年その報告が文部省から纏められて公けにされた。「幼児・保育學校に關する諮問委員會の報告」 Report of the Consultative Committee on Infant and Nursery Schools がそれである。その第一章は「イングランド及びウェールズに於ける初等教育の明確な一部としての幼児教育の第十九世紀初期以降の概略史」であり、イギリスに於ける保育史に關しては現在最も信すべき報告と言ふこゝみが出来よう。

一 一八七〇年までの概況

(一) 一八一〇年に至る西歐の保育思想

イギリスに於いて組織立つた教育としての保育が始まつたのは極めて新しいこゝみで、こゝ百二十年間に次第に發達して來たものである。勿論第十七・十八世紀に於ける偉大な教育思想家はいづれも幼児保育の重要なこゝみを認めてはゐた。一六一九年に書かれたアンドレアの「クリステリアノポリス」や一六三三年のコメニウスの有名な「幼児學校」等は、いづれも幼児の訓育を論じたものであり、その後もライブニッツ、リチャード・エッチワース、マリア・エッチワース、ベスタロッツ、フレーベル等の有名な思想家が之に觸れてはゐるが、彼等は皆六歳迄にいたる保育はすべて家庭の仕事であるを考へてゐたのである。ヨーロッパに於ける教育家で、「幼児の本性に基礎を置き、家庭に乳母の養育を補正する」幼児保育機關といふこゝみを最初に考へたのはフレーベル(1782-1852)であつた。

保育思想を實際に移した最初のものとして、西歐に於いて三つの試みが記録に残されてゐる。その各々の創設者は相互に知らずしてこの試みをなしたものと思へる。年代順に言へば、一七六九年アルサスのワルドバッシュに建てられたオベル

ランのもの、一八一六年スコットランドのニュー・ラナトクの一小工業都市に建られたもの、第三は一八三七年にデュールデンの森林のプランテンブルクに設けられたものがこれである。イギリスに於ける保育學校は主としてこの後の二者から發達したものである。

世界最初の保育機關たるワルドバッシュのものは、アルサスのこの僻遠の教會で五十六年間も牧師をつとめてゐたオベルラン F. F. Oberlin (1740-1826) が、サラ・パンジエ、ルイース・シェブレといふ二人の協力者を得て一七六九年にこの地に設立したもので、裁縫や編物を習ふ年長の子供の中に交つて幼児達を監督者コンドクトリスの下で遊ばせたのであつた。書き方や自然觀察に關する事柄が掛圖によつて指導され、手工や圖畫も試みられた。天氣の良い日には戸外に出て觀察や實物教授が行はれた。これが大體最初の幼稚園であるが、フランス、スイス、ドイツの各地にこのオベルランの幼児學校を範としたものがその後次第に出来るやうになつた。例へば一八〇二年にパウリーネ皇妃がデトモルトに建てたパウリーネ園 Paulinenanstalt の如きはその一つで、これは現在にいたる迄存続してゐるといふことである。

(2) 十九世紀初に於ける英國の初等教育

今日知られてゐる限りでは、イギリスで幼児の保育のために特に造られた機關は、一八一六年ロバート・オーエン Robert Owen (1771-1858) によつてスコットランドのニュー・ラナーク New Lanark に於けるオーエンの新しい學校の一部として設けられたものである。これが即ちイギリスに於ける幼児保育の黎明であるが、その説明に入るに先立つて當時——第十九世紀の始めに於ける初等教育の有様に就いて述べておくのが便利である。

當時の小學校教育機關は營利の上に立つ私立學校、デームスクール、パロキアル、チャリター、サンデー 刀自學校、チャリター、サンデー 教區學校、サンデー 慈善學校、サンデー 日曜學校、及びベル、ランカスター兩氏の努力によつて始められ生徒監の下に稍々組織立つた教育を施したモニトリアル・スクール等で、いづれも個人の慈

善的、社會事業的動機に發したものが、若しくは教會團體の手で營まれたものが大多數であつた。このうちデイム・スクールのには六歳以下の幼兒を若干收容するものもあつたが、他は殆んゞ七歳以上の子供に限られてゐた。一八〇一年に「大英學校協會」なるものが創始され、一八一一年には「貧民兒童の爲めの教育促進協會」が生れ、國家として若しくは社會としての初等教育に對する努力が始めて實を結ぶにいたつたが、兩協會はいづれもハムル Dr. Andrew Bell 及びランカスター Joseph Lancaster 二氏のモニトリアル・スクールを支持し後援した。この學校も元來は六歳以上の子供に宗教的陶冶ミ三Rの術ミ、女兒には若干の裁縫技能を授けるのを目的としたもので、「學校協會」の法規の一つにも六歳以下の子供は學校に入れるべからずとされてゐる程であつた。併し實際に於いては六歳以下の子供もモニトリアル・スクールに收容されてゐた。それは一に地方の情況ミ學校の大きさまによつた。然もその數は漸次大きくなつて、一八五〇年の頃にはイギリスの之等「小學校」兒童の四〇%は八歳以下の子供で占められてゐた。つまり初等教育の機能が漸次低下する現象を呈した。一八五二年に彼の有名なマシユー・アーノルド Mathew Arnold の報告した所によると、一、昨年中私の訪問した學校に就いて考へるに、幼兒學校が不足してゐるの感が特に強かつた。七歳以下の子供が澤山押しかけて騒いでゐるために折角のよい學校の教育機能が減殺されてゐる」ミ述べられてゐる。

刀自學校ミいふのは年寄つた婦人や不具の女が自宅に近所の子供を集めて保育ミ教育ミにあつたものであるが、當時の社會では大きな教育的勢力であつて、一八一九年の統計によれば全國で三、〇二〇もあり、收容兒の度は五三、六五四人に上つてゐる。之は最初から幼兒を收容し、主として二、三歳から七歳迄にわたつてゐたもので、實質上幼稚園保育の前身をなしてゐた。前に言つたやうに之等の經營者は學問的には教養の低い婦人もあつて、その設備も不衛生的な狭小なものが多かつたが、中には地方の篤志家や教會等の補助によつてかなり立派な設備により見るべき成績を擧げてゐたもの

もあつた。

(3) ロバート・オーエン

イギリスに於ける最初の幼児學校は一八一六年にロバート・オーエンがスコットランドのニュー・ラナークに建てたものであつた。これはオーエンが議會への報告に於いて言つてゐるやうに「工業都市の下層階級の子供のための教育」を目的としたもので、両親が綿紡ぎ工場で働いてゐる間三歳以上の子供を受取つてその世話を見てやるものであつた。この學校は上下二級に分れてゐて、先づ三歳の子供は準備級に入れて良い習慣を馴致し、然る後に上級に入れて讀・書・算の術を女兒の裁縫技術を授けるものであつた。幼児學校の最初のものにして注意すべきは、力めて戸外の遊戯を保育が重んぜられたことである。オーエンの自傳に「天氣は子供が許す限り子供は戸外で遊ぶべきである。併し眠がる時には満足するだけ睡らせてやらねばならない」。ミある。オーエンの子供のR・D・オーエンも「ニュー・ラナークに於ける幼児學校の情況」中で次のやうに書いてゐる。「三―五歳までの幼児級は一日に二時間半だけ學校の建物の中に居り、残りの時間は學校の前に設けられた運動場で若い保姆の監督の下に極めて自由に遊ばせられ、之によつて健全にして確平たる習慣を得させられた」。一八一八年になつてホイッグ黨急進黨内の有識者がこのオーエンの幼児學校の支持を申合はせたが、その中にはジェームス・ミル、ブルーガム、ランスドーン卿の如き人もあつた。かくて數ヶ所に之に倣つた幼児學校が新設された。そのうち最も有名なのはニュー・ラナークから聘されたブッチャナンを指導者とするウエストミンスターのものである。

(4) サミュエル・ウィルダースピン

第二の幼児學校は一八一〇年ジョセフ・ウィルソンによつて、イングランドのスピットルフィールドに開かれた。ウィルソンが一切を託したウィルダースピン Samuel Wilderspin (1792-1866) は前記ブッチャナンの友人でウエストミンスター

の幼児學校にあつて保育の實際を研究した人であり、彼も亦健康・體育さいふ目的の他、徳育・訓練上の目的で盛んに戸外の運動遊戯を重んじた。一八二四年ロンドンにペスタロッターの友人グリーブス J. P. Greenes を會長として「幼児學校協會」なるものが建てられた。それは永續はしなかつたが、ウィルダースピンはよく之を提携して斯業の發達に努力した。彼は宣傳のために諸國をしばしば旅行した他、自ら數冊の幼児保育に關する著作を公けにしてゐる。彼の教育觀は未だ極めて曖昧な不完全なもので、しばしば教育と教授との混同なごも見られるが、幼兒を樂しませることを中心とし、學校の設備を明るい愉快なものにするさういふ點、體育の重視、圖繪や實物による直觀教授、吟味・表現・比較の自由活動等の點に彼のすぐれた着想を伺ふこゝが出来る。併し彼に做つて出來た多くの幼児學校では徒らに機械的な方法だけが移入された傾向がある。さもあれ彼も一功勞者に算へらるべきである。

(5) ダヴィッド・ストー

幼児學校の今一人の先覺者はストー David Stow (1798-1864) である。彼はスピタルフィールドのウィルダースピンの幼児學校を訪れてグラスゴーに一八二七年に幼児學校協會を建てたが、模範校の意味で翌年自らドライゲートに一校を創設した。彼のやり方はウィルダースピンのそれを模したもので、上下の二級に分ち、校舎の設備、體育・訓育の重要視、實物・直觀・表現による教授等の點でこれに似た試みを行つた。その次第は、グラスゴー模範學校に行はれた教育組織（一八三六年）なる彼の著作に明らかである。その組織の方法を見解みに就いて一八三五年グラスゴー・ヘラルド誌に掲げられた左の記事は如實に傳へてゐる。「運動場では子供の健康と良習慣をいふこゝが第一に注意されてゐる。廣い教室は換氣に注意し、之を取巻く繪や實物や模型は子供の理解を助ける爲めのものである。子供達は清潔・規律・柔順・敬虔・親切等の習慣に向つて訓練される。椅子に坐つてゐるのは僅か十五分もつゝかない。一切が樂しさに動いてゐる。教示は繪と實物とで

なされる。一日の五分の二は運動場や戶外で唱歌・跳躍・行進・遊戯・組木・觀察等で過される。

メーヨーは自らも言ふ如く教育上の天才でもなく又その施設の跡に獨創的なものも見當らないが、オトエの思想を廣く傳播し實現するに力があつた。又彼はグラスゴウの教會師範學校で小學校や幼兒學校の教師の養成に盡力した功は大きい。彼は又その宗教を育上の功によつてスコットランド教會の支持を受けることが出来た。

オトエとメーヨーの努力によつてオランダ及びスコットランドの幼兒學校は非常な勢で増加した。それは元來の目的がさうであつたやうに、貧民労働階級の二乃至六歳迄の子供を收容して之を家庭の貧困と不道德、街上の危険から護り、體育・訓育を主としたものではあつたが、又知識の教授も行はれ、特に是等の不幸な子供に光り喜びを興へる點に於いて大きな教化力となるにいたつた。

(6) メーヨー兄妹

この頃チャールズ・メーヨー Charles Mayo (1792-1864) エリザベス・メーヨー (1793-1865) の兄妹が出て、幼兒學校とその保姆の養成を目的とする「内外幼兒學校協會」なるものを設立した。一八三六年のこゝである。兄のメーヨーは彼のバス・タロッチに親しみ、一八一九年から一八二二年までイヴロッドに於いて共に生活した經驗をもつ。彼の創設した協會は幼兒學校及び小學校の教師の養成を主たる目的としたものであるが、その主旨は幼兒の教育といふことは相當の學識と手腕を而して忍耐克己心をもつた教育者でなくては出来ないといふにあつた。後ち協會は幼兒學校の組織を統一する目的で先づ模範學校を建てたが、文部省の醫學官タッシュネルは一八四七年この學校を視察して次のやうに報告してゐる。「教授の普通のやうな本にもなる動物にもなるその他の事物にする。先づ子供にその繪なり型なりをつくらせて、然る後に之を教材にする。いふやうである。最幼少の子供への教育の着眼する所は彼等の觀察眼の養成といふ點にある。先づ彼等に事物の

明確な觀念を與へ、次に之を表現せざるべしといふのが教授の原理とされてゐた。例へば色彩に就いて教へる場合には、先づ一群の色の書かれた紙を示し、次に各種の色のカードの中から之に相應するのを選び出させて、名稱を教へ、次の時間にいろ／＼の事物にそれ／＼の色を配合せざるべしといふやうなやり方が行はれてゐた。

メーヨーの内外教育協會の努力としては初等教育を三歳以下の幼兒の級、三乃至六歳迄の級、六乃至九・十歳迄のもの、三級に分つ區分を普及させたことであつた。

(7) 第十九世紀前半に於ける幼兒保育の特色

以上述べた先覺者的の幼兒教育者の努力に關する敘述から、當時に於ける保育運動は一般初等教育運動が擴まつた時期に之を伴つて形をこつて來たさいふ事が知られる。即ち初等教育運動の始期からその内部に於いて六歳を堺とする上下級の教育に分れようとする傾向が存したのである。之が目につく第一の特色である。

第二に十九世紀の初に於ける産業革命の進展は次第に少年の勞働に對する要求を高めて來たが、刀自學校、教區學校その他の機關に「國民教育協會」その他の手が進められた教育運動はこの要求に對應して、學校教育をなるべく早く始め、少くも十歳迄には終らせようとする傾向が強くなつて來た。

第三に當時の時勢は教育と保育とを結合した學校を要求した。即ち上に述べた如き諸機關は明瞭に二つの機能——一つには母親の勞役従事の間子供の世話を見ること、二つには讀・書・算等の基本的知識技能を與へることの二つの機能を示してゐる。

第四に斯くして生れて來た幼兒學校が重きを置いたのは身體の訓練、愛情の増進、道德的、社會的良習慣の養成といふ三點であつた。之はオーエンの著書及び實踐、ブッチャナンやストー等の實際活動、ブルーガム等識者の力に負ふ所が少

くない。

第五に幼児學校は子供に知識を與へるに共に愉快な明るい場所ではなくてはならない。

以上に擧げたやうな當時の幼児學校の特徴を示すものとしてペーカーの「中央教育協會報」C. Baker, The Third Publication of the Central Society of Education (1889) 中から二三の引用をなして見よう。

「幼児學校といふのは、歳から六歳までの幼児を收容し、親の手から之を預つて彼等のために両親もなり友達もなり又教師もならんとするもので、家庭と學校とを一に結合し、信頼に足りる温かい母の親切と愛情を賢明なる教師の才能にて補つたものである。それは調和的發育に資せんとする適切にして複雑な仕方で身體の力を健康を増進し、聖書の教へる道德的社會的良習慣を馴致することに重きを置き、言葉よりも實行・實物・範示によつて成功を期せんとする。過度の喧騒・興奮は避けぬばならないが、常に嬉ばしい明るさが幼児學校の空氣でなくてはならない……」。

右の一般的敘述に續いてペーカーは幼児學校の身體の訓練といふ點に就いて特に次のやうに述べてゐる。「そこで幼児學校の特殊の目的は子供の身體的幸福といふことにあらねばならない。子供の健康の維持増進のためには食物・衣服・運動・清潔・衛生等一切のこゝがらが注意と監督の對象にならねばならない。良好な幼児學校に於て行はれてゐる方法は第一に換氣された空氣の通しのよい廣い部屋、第二に遊戯・作業を通して行はれる筋肉運動、第三に室内及び戶外に於ける軽い體操・競技、第四に勤勉な勞務の習慣づけるための適當な作業である。更にペーカーは道德的訓練の重要性に就いては「我々は決して德育が二義的なものだと言ふのではない。たゞ社會的 성격にしる道德的教養にしる又は知的才能にしる、それ等は健全なる身體の基礎があつて始めて可能なのである」(三)述べ、更に知育に關しても「慎重な用意の下に身體の發育に害ならぬ程度に於いて重要な知識は與へられねばならないが、是等の知識は子供の理解の範圍内に於いて、子供が欲する時、欲

するやうな方法で與へられねばならないことについてゐるのは注意すべき事である。

(8) 一八六十年に至る迄の各種設備の發達

かくしてイギリスに於いて幼児保育の重要さは次第に認められて來た。一八四〇年に新設の「教育委員會」(Committee of Council on Education) から第一回の覺書が發せられたが、これを見て幼児學校なるものゝ性質特にそれが初等教育との區別に於ける意義がはつきり認められたことがわかる。委員長のカリッパス・ケーは各小學校には幼児科を設け、出來得れば獨立の幼児學校が建設さるべきことを明記してゐる。而して委員會がその必要を認めたまなる理由は産業革命の進展につれて少年の勞働がますます盛になり、この風潮は都市のみならず地方田園にも普及して行つたことにある。一八六十年に有名な「ニューキャッセル委員會」の報告なるものが出されたが、それまでの十九世紀前半に於ける幼児教育行政といふものは、その大部分がこの少年勞働の禁止抑壓に關するものであつた。一八三三年―一八七一年にいたる數度の「英國工場法」(一八六九年の「鑛山法」の如き皆それである)がこれを斷斷に言へば、一八六九年の「教育委員會總書」が「一八六〇年のニューキャッセル委員會報告書」にいたるまでの四十二年間のイギリスの教育界は、近代教育史上でも有數の生氣溢れた試験時期であつて、この間にカスター上の始めたものや學校、學校の設立、學校の設置、學校の設備、學校の組織は相對立して大いなる變容發達を見たのであつた。かくして各地處の流れを汲む幼児學校が新設された。又「教育委員會」では特に幼児學校の教師保母の養成に力を注ぎ、各大學の師範科はその爲めに特殊の設備をしない限り補助金を交附されない規定になつた。保母の特定の資格が問題となり規定されたものがある事情によるものであつた。

(9) ニューキャッセル委員會

「ニューキャッセル委員會」(いふのはニューキャッセル伯を委員長として、一八五八年に任命された官命の教育研究委員

會であつて、その任務は「イングランドに於ける公教育の現情を調査し、健全にして手近かな一般教育促進法を報告」するにあつた。

一八六一年に公表されたこの委員會の報告は、學校を次のやうに分類してゐる。即ち(1)幼兒學校、(2)晝間學校、(3)週日學校、(4)日曜學校。而して幼兒學校といふのは七歳までの子供を收容するもので、その始期は出来るだけ早く、幼兒が獨立して歩行し言語を操り得る時から始まるだけで、一定の年齢の制限はない。それは仕事をもつ母親に代つて幼兒を保護し養育する社會的保育機關である。

幼兒學校は私立の刀自學校、公立の幼兒學校がある。後者は時として公立の小學校の一部として併置される。一八六一年の當時にあつては刀自學校はかなり多く都市及び地方に大きな勢力を張つてゐた。中には規模の極めて小さいものがあり、私立の託兒所と言つた趣のものもあつた。遠隔の土地では大いに便利な推賞すべき設備であつたが、多くは不潔でその設備も勿論不完全なことは免れ得なかつた。

公立の幼兒學校にはいろいろの型のものがあつたが、「委員會」はその優秀なものは國民教育上大いに意義あることを認めてゐる。而して公立幼兒學校が成績を収めるに否は主としてその教師たる者の能力・忍耐・愛情等に依るをもつて、幼兒學校教師養成のための機關の増設を大いに要求してゐる。「その機關は特殊な要求に應じる特殊の設備、特殊の教育を必要とする」。

一八六一年の報告に基いて教育委員會副會長ロバート・ローは外學校六ヶ年七歳までの學年制度を確立し、各學年毎に一定の試験標準を究めた條令 Code を發した。この條件は右の如く、小學校に關するもので、直接幼兒學校の保育には無關係のやうに思へるが、仔細に考へれば第一學年の入學者格試験に對する準備を必要とする點に於いて、幼兒學

校に於ける保育、否な少くもその教育の限界又は目標を示した點に於いて、幼児學校への指針となつたものである。

かく一八七〇年頃まではイギリスでは幼児保育に關する公定の法令は發せられてゐないが、その保育の實情は上に述べた如く、かなりイギリスの各地方にまで浸潤し、體育・徳育を主とし、知育は第二次的のものとするこの一般的傾向だけは確立し、幼児保育の重要性とその特殊意義とは十分に認められたと見るこゝが出来る。

賀 正

日 本 幼 稚 園 協 會

昭和十二年一月

フレーベル先生の遺跡を訪ひて(二)

フレーベル館副社長
法學士、文學士

高市慶雄

序

世界教育史上に於けるフレーベルの地位が何であるか、或は幼稚園教育に對するフレーベルの學說の理論的檢踏、等に關しては、邦語に移し植ゑられたる文獻も、三はあり、歐文資料に至つては汗牛充棟も當ならぬ位であります。またフレーベルの學說が、今日の新しい研究の視野より見れば、幾多批判せらるべき餘地多く、歴史的存在としてののみ價値ある部分の多いことも事實であります。それにも係らず、先生の抱懷せられた根本的の理念或は理想は、なほ脈々として今日に生きて居るものと信じます。先生の創められた幼稚園制度が世界的に擴大して、なほ益々發展しつつあることいふ事實が、最も雄辯に之を物語つて居ります。此の意味に於て、先生が幼兒教育の始祖であり、世界の幼兒の父であるといふ事は至當であります。私はあの中世紀の篤信者がイェルサレムの聖地を訪れた時の如き感激を以て、獨逸に於けるフレーベル先生の遺跡を歴訪したのであります。此のさゝやかなる一篇は、今夏文部省講習會、岡山市の吉備保育會等に於てなされた講演の筆記であります。

チューリンゲン森林地帯

フレーベル先生は、チューリンゲン森林地帯に於て生れ、活動し、また逝去せられたのであります。都會に出て活動する事を好まねなかつた様に思はれます。チューリンゲンこそ先生は切つても切れぬ關係の深い地方に申すべきです。

此の地方は「我國で言へば、木曾山中の如き所で」先生の故地オムベルツァタール等と申し
ましても、伯林などでは、殆ど意識つて居る人はないといふ様な甲田舎であります。此の地方は、獨逸の中部地方にあつた
山岳森林地帯で、景色のよい事と樹木の多い事を以て知られて居ります。獨逸でこの地方を Grines Herz Deutsch-
lands (獨逸の緑の心臓) と呼びなすのは、此の故です。これは美しい言葉であると思ひます。また「チューリングゲンに住
まひ得る者は、神に愛せらるゝ證據である」といふ諺もあります。此の地方はまた、最も獨逸的に申せば、所謂獨逸
魂の本源地と謂はるゝ所で、通ぐる歐洲大戰當時、祖國の爲めに最も勇敢に戦つたのも、此の地方の住民であつた相です。

フレーベル先生の活動地域は、此「チューリングゲン」の殆ど全般に亘つて居りますが、大別して大體二つの區域に分ち得る
のであります。即ち先生の前半生を費やされたシムツァタル溪谷地方は、後半生に活動せられたシムワイナ・リッ
ベンシュタイン地方とこれでありませう。前者はチューリングゲンの東北部、後者は其西南部に當り、兩者の間に一寸隔りが
あります。それで、フレイベル先生の遺跡を考察する場合には、此二つの地域に分けて考へる事が必要であります。

ワイマールよりイエナへ

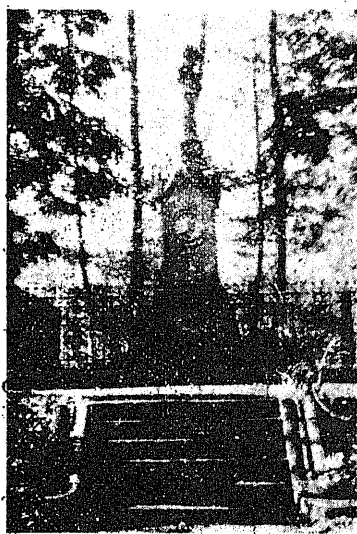
私は一昨年十一月九日の早曉、ベルリンのアン・ハルト驛を出發、先づ足をチューリングゲンの東北部シムツァタル
溪谷へ向けました。途中文豪ゲーテ、シラーの遺跡に名高いワイマールに少憩、折しもナチス記念日で、鉤十字の國旗
翻懸たる中を、車を驅つてゲーテ博物館及びシラー・ハウスを歴訪、獨逸の文化を代表する此兩巨人の追憶に胸を躍らせ
ました。こゝから支線に乗換へて幾許もなくイエナ市着、此所は今光學工業——レンズの製造——に名高い工業地帯で
あると共に、古い大學の所在地で、一七九九年より、八〇年迄足掛三石年間、フレイベルが此大學に學生生活をした事は周
知の事實であります。私は更に進んで薄暮、夜の帳のまさに垂れなんとする頃、バード・ブランケンブルヒに着きました。

私がこゝへ来るに就いては、一つの日あてがあつたのであります。即ち最近來朝された伯林大學教授シュプラミゲル博士の紹介により、前ライプチヒ女高師教授で、フレーベル研究の世界的權威と謂はるる、プリーフェター博士 Dr. Prifer. をお訪ねする爲めであります。博士は目下隱退して、フレーベルも最も關係の深いこのチューリンゲンのブランケンブルヒに悠々餘生を送つて居られるのであります。先生の御寓居はゲオルグ通り二十番地 Georgstr. 20 で、宿かぢも遠くない事が分りましたので、翌日はお訪ねする積りで居りました。さて目覺むれば、まばゆき許りの好晴で、溪沿ひの窓から



(ヒルブンケンラブ)宅住のルバーレフ

は、香はしき精氣が快く肌をさします。宿のぢき近くにフレーベルの百年記念碑があるミいふので、先づこゝに參詣して寫真なきを撮つて居りますミ、向うからピッコをひきくステッキをついてやつて来る上品な一老人があります。



碑念記年百ルバーレフ

つかくミ私の傍に
來て、肩を叩き乍ら
お前はこゝから來
たかミ尋ねますの
で、私は日本から、
フレーベル先生の遺
跡を訪ねて參りませ
だに答へますで、

老人は大變に喜んで、兎に角自分の家へ來いませと申します。訊いて見ますと、この老人こそ、兼ねて令名を傳へ聞くアリョーファー博士其の人に他ならなかつたのです。奇遇と申すか、偶然と申すか、これこそ地下のフレイベル先生のお引合せではないか感じました。先生のお宅は、近所で、相當立派なお住ひです。奥様、頗る美しい御令嬢、それに御令嬢の許婚の方等が出迎へられ、下にも置かぬ歡待振。お茶を出すやら、御馳走を出すやら、また有名な「フレイベル傳」その他の博士の御著書、博士の主宰する「親ミ子」 Eltern und Kind といふ雜誌、御自分の博士論文等に署名して下さる、或は壁にかけてあるフレイベルに關する色々の珍らしい寫眞や古文書等を惜し氣もなくはづして下さる、それからこの町のフレイベルに關する數多くの遺跡を、悪い脚をひきづりひきづり自ら案内して下さる（博士は歐洲大戰に出征し、脚部に



園稚幼の初最界世るせ設創のルバーレフ

負傷せられたのであります。博士の態度は、孔子の所謂「朋有り遠方より來る、亦樂しからずや」との言葉をそのまゝ具顯してゐる様に感じました。

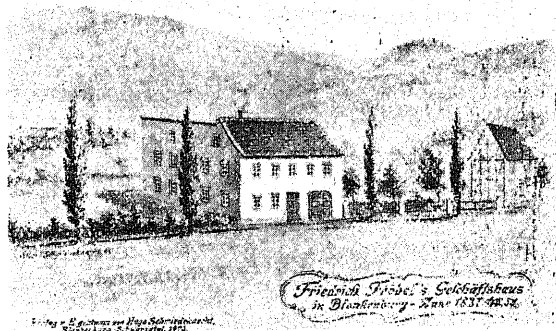
さて此のブランケ・ブルヒには、先述の百年紀念碑の他、フレイベルに緣故の深い色々の遺跡があるのです。第一に名高いのは、フレイベルが始めて建てた世界最初の幼稚園の跡です。その建物は、さして大きいものではありませんが、フレイベルの時代そのまゝに残つて居り、今はアドルフ・ウェーデル・シューレ Adolf Wedel Schule といふ小學校の教室に使用されて居ります。この建物の左側の石

坂を登るに、エムグラナーデ *Esplanade* と呼ばれる、高臺の遊園地があります。こゝは、フレドベルが、その最初の幼稚園児を連れて楽しく遊んだ所で、ブランケンブルヒの街や、その周邊の美しいチューリンゲンの風物を、一眸に收むる見晴しのよい地です。フレドベルの手植の樹があります。今日は仰ぐ許りの亭々たる大木となつて居ります。フレドベルがこゝに開いた最初の一個の幼稚園が、今日は世界中に擴まつて、その數幾千、幾萬たるを知らぬ有様です。この奇蹟にも似た幼稚園の大發展を、この大木が豫言し、象徴して居る様に感じまして、私は徘徊去るに忍びず、百年前の在りし日をまぎ／＼と目前に追想した事で御座いました。

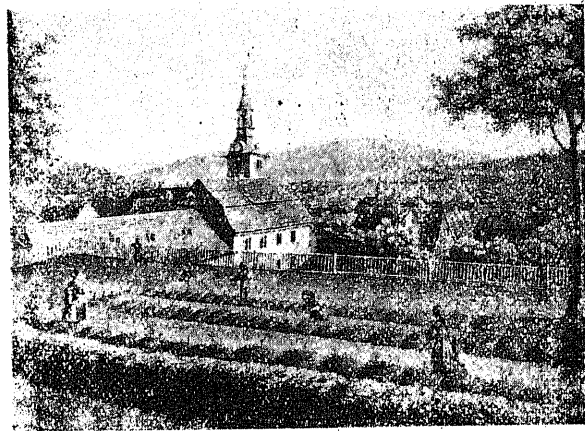
この高臺を降り、マルクトといふ町の古い中心を過つて、シュワルツァートル河沿ひに二棟の記念すべき家屋があります。一は先生の住宅で、今はマッヘライト *Macheleid* といふ人の住ひになつて居り、他は *Geschäftshaus* と申しまして、フレドベル先生の恩物工場兼店舗であります。即ち先生がフレドベル式恩物を考案せられたが、未だ今日の如く幼児教育の發達してゐない當時に在つて、何人も之を製作して呉れる者がなく、そこで先生は自ら工場を建て、恩物を製造して、広く頒布せられたのであります。これは一種の商行爲の如く見えますが、實は幼き者に合理的の遊具を供給せんとの熱情に出づるもので、經濟上の利害得失に就いては、顧る所少かつたのであります。このフレドベルの工場兼店舗は、今日は改造されてシユラー *Scheller* といふ建築技師の住宅となつて居ります。

此の町には亦、フレドベル先生の先夫人ウイヘルミネ・ヘンリエッテ女史 *Wilhelme Henriette* の墓があつて、私もブリュエファア博士と共に其の墓前に跪きました。

フレドベルの方法を其の儘採用する「フレドベル模範幼稚園」が此の町に在る事は曩に申述べました。此の幼稚園には「フレドベル博物館」を銘打つ陳列場があります。フレドベル先生に關する珍らしい寫眞、繪畫、先生が生前使用せられた



ルベールフ 舗店兼場工物恩のルベールフ
 (姿の、まのそ時當世在)



デーナラフスエだん遊と兒園の初最がルベールフ

家具什器、身の廻り品、肉筆の書簡數十本等が蒐集保存せられて居ります。それらの中最も貴重なものは、先生の著
 二人の教育 *Menschenziehung* の原稿であります。私は歴史に多少の趣味を持つて居る關係上、歐洲の有名な古文書は
 成るべく涉獵しましたが、先生の如く整然として美事なる筆蹟は稀であります。以上の遺跡は、全部映畫に撮影して歸
 命されたので、講習會席上に於て上映せられました。

簡單に出来る繪本應用

紙芝居の作り方

聖美幼稚園長 内山憲堂

序

紙芝居が園児たちにどんなによろこばれ、歓迎されるか云ふことは、紙芝居を幼児に試みたものでなければ解らない。今日では基督教紙芝居、幼稚園紙芝居、佛教紙芝居等各種の紙芝居が刊行されてゐる。しかし經費の點でこれ等のものを購入することが出来ないとか、更に變つたものを求められる云ふ場合は、自分で描けば理想的なもの自分に取り立てはを得られるのである、けれども續心がない場合はさうすることも出来ない。

そこで一番安價で、一番簡單に誰にでも出来る方法を紹介させて貰ふことにする。

紙芝居の起原については種々な説があるけれども、「寫し繪」のどきからくりからヒントを得て明治六年頃香

具師が小屋掛けの紙型人形芝居を始めたのが、最初らしい。勿論、この紙芝居は鉛を買ふものではなく、木戸鏝を取つて見せるもので大正十年頃までは下谷淺草の縁日に掛つてゐたことがあつた、人形も一尺四五寸から一尺以上のものを使用してゐた様である。

更に明治二十年頃に起つたものが、圓朝の弟子に通稱「新さん」云ふものが、繪をよくし、圓朝の得意とした「西遊記」や「忠臣藏」を新さんが描いて木版刷りにして一枚一枚で賣つた當時の、子供はそれを切り抜いて、竹の串をついて遊んだ。それからヒントを得て小屋者で丸山善太郎云ふ人が明治四十三年頃紙芝居を始めたのである。當時は同業者が七八名しかなかつた。大正の中頃から姿を消してゐたものが昭和に入つてぼつと姿を現はし、自轉車を

利用する様になつて、昭和四五年頃から急激な増加を示して來た。

しかし、この時期迄行はれてゐた紙芝居はすべて厚紙の表面と裏面に同じ人物が異つた動作をしてゐるところを畫いて、それを貼り合せて中央に竹串をさしたものである。紙の人形平面ではあるが、芝居をさせたからこれを紙芝居と稱したのである。

ところが昭和五年四月淺草清島町に住む永松武雄と云ふ紙芝居の繪工さんが「魔法の御殿」を云ふ紙芝居を厚紙の上に描いて繪嘶式にして話した、これが今日の平面紙芝居の始めである。この繪嘶式のものが次第に紙芝居業者の間に採用される様になつて來るに共に一人々々獨立して人形で芝居をさせた形式のものを特に「立繪」呼ぶ様になつた。

昭和四五年頃までは立繪式のものゝ繪嘶式のものゝ半してゐるが、六年頃には殆んど繪嘶式が立繪を壓倒して仕舞つた。今日用ひてゐる紙芝居は繪を見せて話をする、繪嘶であつて、正確には紙芝居と云ふことは出來ないのであるが、紙芝居(立繪)を持つて來てゐる紙芝居屋さんが持つて

來るから同じ様に平面式のものも紙芝居と呼んでゐるのである。

繪本を應用して簡單に出來る、立繪式紙芝居と繪嘶式の紙芝居について述べることにする。

A、立繪式

一 繪本の選び方

紙芝居を作る繪本の條件としては、第一に繪本全體が一つの話の筋をなしてゐるものでなければならぬことである。即ち桃太郎なら桃太郎の話を中心に描き出したものでなければならぬ、お婆さんが桃を拾つて來るところから始まつて、生れるところ、出征のところ、犬猿雄の家來になるところ、鬼を退治するところ、凱旋するところと云つた様に話の各場面の表はされてゐるものであること。

第二には、どの場面に於てもなるべく人物が獨立してゐるものであることが必要で、なるべく人の繪が物の陰になつてゐたり、人物が重なり合つてゐたりしないものがない。

第三には構圖と色彩のよいものである。上手に描かれた繪、あくどくない色彩であることが必要な條件とされる。二

度か三度の石版刷りでほんんぎ原色の様なひざい色を用いた様なものがあるが、あれは子供のためによくない。

第四はなる可く紙質の厚いものであることである。立繪の場合裏打ちをせず二枚を裏表に貼りつけるのであるからあまり薄いものでは立たないことがある。

二 人形の取り方

立繪の人形は各場面に応じた人形数が必要である、この點は人形劇等と異なつてゐるので、人形劇に於ては一個の人形が出現してあらゆる動作を正すのであるが、表裏に描かれた人形に於ては二つの動作しか爲し得ないのである。

「舌切雀」を例に採るならば人形劇に於ては、お爺さんとお婆さん、雀とお化けさへあれば全場面の演出に事缺かないのであるが、紙芝居に於ては

第一場面	お爺さんが雀を可愛がつてゐるところ	お爺さん(イ)	雀
第二場面	お婆さんが舌を切るところ	お婆さん(ロ)	逃げる雀
第三場面	お爺さんが歸つて来たところ	お爺さん(ハ)	お婆さん(ニ)

第二幕

第一場面	お爺さんが訪れて行くところ	杖を持つたお爺さん	出迎へる雀(ハ)
第二場面	雀のおどるところ	坐つたお爺さん	踊る雀
第三場面	葛籠を貰つて行くところ	葛籠を負つたお爺さん	見送る雀(ハ)

第三幕

第一場面	大きい葛籠を負つて歸るところ	葛籠を負つたお婆さん	見送る雀(ハ)
第二場面	お化けの出るところ	おどろいたお婆さん	お化け

以上八つの場面を挙げたのであるが、その人物は十六になる。大抵の繪本は十六頁即ち八つの場面の繪から成り立つてゐるから以上の如き人物を作ることは容易である。これを劇に演ずる時には三幕となるのである。

しかし、人形が場面によつて二度に用ひられることもあるから實際は十六も要さないこととなる、即ち、第一幕では第一場の(イ)と第三場面の(イ)が共同に用ひられ、第二場面の(ロ)と第三場面の(ロ)が共同に用ひられ、第二幕、第三幕に於ける雀(ハ)、(ハ)、(ハ)が同じものを用ひて差支へ

ないから十三本人形を作ればこの芝居は演出できることになる。

三 人形の作り方

先づ同じ繪本を二冊買つて来る、そして、芝居が出来ただけの人物を選定して、兩方の本から同じ人物を切り取つて来る。これを表裏に貼り合せて中心に竹串を差せばいゝの

表面



であるが、これだけでは裏表をひっくり返しても何等の動作をしないから一方の繪の手なり首なり足なりを切り取つて少し上下又は左右に移動させて糊で貼りつけるのである。例へば上の圖に於て一方は扇子をあげてゐるところで一方は下げてゐるところであるが、原畫に於ては兩方共「表面」の如き構圖であつたのを扇子のミところを切り取つて下向けに貼りつけたのである。足も同様原畫では「裏面」の様に下にあつたのを切り取つて後方へ持つて來たのである。

出來上つて糊が乾いたら、人物だけを殘して墨で塗りつぶして仕舞ふ。これで一人物が完全に出來上つた。

竹串は紙の中へ入るところは扁平にして置き下方は丸味を持たせる、そして先の方は尖がらして置く。(これは葉たばの中へ差すためである)竹串の長さは繪から下三寸から四寸位でよい。なるべく太い方が演出に便利である。

猶、附言してセットの作り方を述べて置く。セッ

トは前部前方へ小さなものを用ひるか兩脇へ立てるより仕方がない。後方は黒一色で行かなければならないからである。

そこでセットも人形芝居と同じ様に竹串を作つて置いて、下の「藁たば」へ差すこゝが出来るやうにして置くこゝ取り扱ひが自由になつて都合がいゝ。

四 舞臺の作り方

立繪の紙芝居には人形芝居的な舞臺を必要とするのである——この意味に於て立繪の紙芝居は人形芝居の一種である。先づ普通の繪本から採つた幼稚園で演ぜられる手頃の舞臺の寸法を示せば

舞臺面 間口 二尺から二尺五寸、高さ一尺から一尺五寸

袖(左右共) 五寸から六寸位

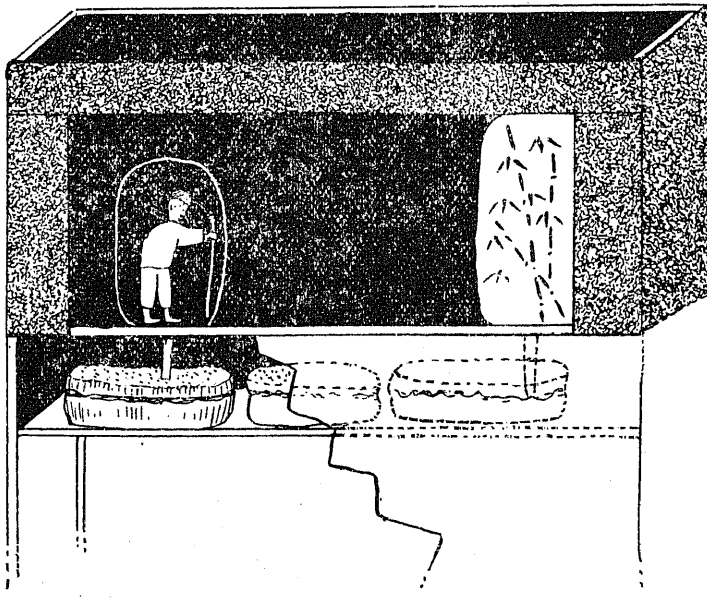
天 五寸位(幕をつけるとして)

舞臺面の高さ 三尺二三寸

舞臺面より五六寸下のこゝろに幅三四寸の柵をつける。

奥行 一尺から一尺五寸

舞臺は一寸角位の細割で作ればよい、これで骨組みが出



物の向きに氣をつけて、後向きに歩かせないこゝである。

B 繪嚙式

一 畫面の作り方

繪本の選擇は立繪の場合と同じである。同じ繪本を二冊買つて來て、それをバラ／＼にして仕舞ふ、そしてこの繪本で第一頁と第二頁によつて一場面を作る、即ち厚紙の上に兩頁をつぎ合せて貼りつければよい。第二場面はBの繪本で三頁と四頁で作る、第三場面はAの繪本で五頁と六頁で作る。かくして製作して行けば二冊の繪本で完全に全場面數だけの平面紙芝居が出來上るこゝになる。

二 舞臺の作り方

舞臺はたゞ差入れが出來るだけのこゝであるから極めて簡單である。菓子折りの裏へ額縁の様な板を張りつけて左右から繪が入る様に切り取れば出來上る。廢物利用である。繪本拾五錢として貳冊で參拾錢、菓子折を利用すれば參拾錢で園兒のよろこぶ紙芝居が一二時間で出來上るのである。

三 話し方

來上つた譯である。さて骨組みが出來上つたり、今度はそれに布を張る。後方のバック及び舞臺内面の左右は黒の木綿を上から下の棚のこゝろ位まで張る。天及び袖それから前方を右左へは少し厚手な布又は木綿に裏打ちをしたものを張る。色はなるべく落ちついた上品な色がよい。これがあまりけばい、いい人形が引き立たなくなる。

幕は上から下へたらず綴帳式のものがない。人形芝居には左右からの引き幕は適さない云ふこゝは勿論である。

前へ張る布は薄いものでは違つてゐるのがすいて見えるからいけない。大體の出來上りは前の圖の如きものになる。棚の上に置く「葉たば」は三個でも四個でも、又は一個にまゝめてもいい。竹串が自由にさして置ける様に柔かに巻いてあるものであればよい。

五 談出法

人物を左右から出しながら科白をやる。一人で二つの人物が使へる。その上必要でない人物、(家來とか、動く必要のない時)は葉の上に差して置きさへすれば一人で四人や五人の人物を遣ふこゝが出來る。たゞ注意するこゝは、常に人

イ、舞臺の位置

舞臺の後に壁か戸がある方がいゝ。その三四尺前に立つ。舞臺ミ子供ミの距離は子供の數に比例するが五六十名の幼児ミして四五尺のミころがよい。高さは三尺位のものゝ上に舞臺がのること。

ロ、話者の位置

話をする人は、繪を抜く方の側へ立つこと、即ち右から抜く様になつてゐれば右側へ立つ、左からの場合は左側へ立つ。話者は常に正面を向けてゐる様にすべきである。

ハ、話の筋ミ場面ミを會得して置くこと

先づ話の筋ミ場面ミを充分にのみ込んでゐて、話の切れ目、繪の變り目が自由に話ミ繪ミの調和がされること。

ニ、話は平均に

或る場面は非常に短かく、ある場面は非常に長いといふのはいけない、大體各場面の話しの分量が平均してゐることが必要である。

ホ、話者の態度

話す場合は子供の顔を見ながら、時々必要に応じて繪を

見て話す。二十人三十人位の場合は椅子に腰をかけて話

す方が落ちついてよい。ゼスチュアールは、不必要である。繪がすべてを物語つてくれてゐる。子供たちは繪を見ることによつて情景を頭に描き出してゐるのである。

もしゼスチュアールを用ふれば、子供には二重の注意を拂はねばならないことになる。故に童話の如くゼスチュアールは要らない。

ヘ、話の仕方

話は活辯式にならない様、童話の大衆型にならない様、一人一人の子供に話す氣持ちで自然に話すのである。

四 繪の扱ひ方

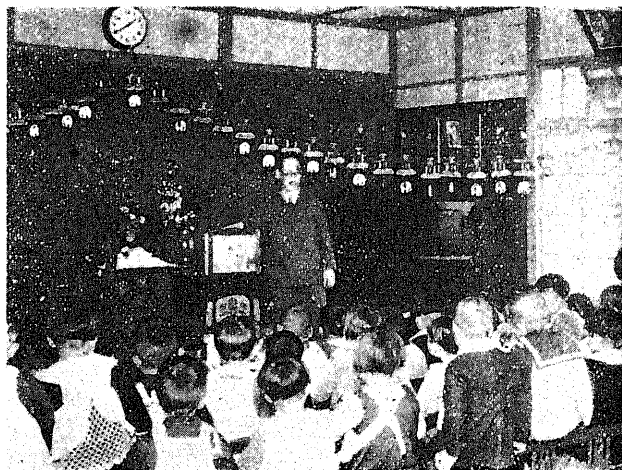
イ、順序を調べて置くこと

話してゐる途中で繪がちがつてゐて差し替へをする様なことがあつたら、その紙芝居はもう失敗である。

紙芝居を舞臺へ入れる前に、豫め順序を揃へて置くことが必要である。

ロ、話ミ一致すること

話の變り目ミ繪ミが一致すること、故によくのみ込んで



い場面等は早く、静かな場面は緩かに抜く。

ハ、抜いた繪

抜き終つた繪は、一々後方へ差さないで、後のテーブルの上にそのまゝ重ねて置いて置く。差すこゝによつて、

置いて前の繪が終る少し前に静かに指を入れて次の繪を出す準備をして、話るて、話に應じて、直ちに變化をする場面、勇し

その方へ氣をこられて話の方が留守になるこゝがある。
 (寫眞は菓子折の舞臺で話してゐるところ)

結

與へられた紙數に制限があるから充分に理解して貰ふまでに書くこゝが出来なかつたが、大體「繪本利用の紙芝居」について述べさせて貰つた。保育の實際に於て遊戯、手技、唱歌、談話、觀察を規則的に與へて満足しないで、益々多角的にし、自由に各種各様のものを與へ、幼児のよろこびを伸ばしてやるこゝを考へなければならぬ。すべてのものが、あり合せのもので自由に幼児のものにするこゝが出来るのである。こゝにはたゞその小さな見本の一つを示したにすぎない。

餅くふみにぎり箸して卓に寄る

この子よき子なりにけるかも

元 且

公開保育を終つて

東京市麴町區富士見幼稚園

山村

きよ

去る昭和十一年十二月一日に富士見小學校第三回公開教

育が行はれました際、急に當幼稚園も参加する事になりま

して、小學校の指導案に對する保育案も造らねばならず、

又一ヶ年間の保育内容も發表せねばならぬ立場におかれま

したので御座いますが、何分にも急な事で御座いまして、

當園の保育内容を全部發表する事は出来ませんでしたので

誘導保育案の主題のみを發表させていたゞきました。従つ

て當日お目にかかけました保育も誘導保育で御座いました、

保育案も倉橋先生のお言葉を拜借して造つて見ました。ご

うぞ充分な御批評をお願い申し上げます。

靖國神社を主題とする誘導保育案

(一)主題 靖國神社の秋のお祭

保育者

山村 保姆
小寺 保姆
酒井 保姆

(二)期待效果

1、皇國的生活經驗の發表

2、各種材料による製作の興味

3、各保育項目との聯絡

4、共同的作業の完成のよろこび

6、社會生活興味

毎週月曜日には揃つておまゐりに出かける靖國神社のお祭一週間前からは、祭禮準備によつていろ／＼様子の變つてくるこころの境内を通りぬけて登園する者多く、又それらの幼児によつて日々の話題を豊富にしてゐる園児等が、お祭の間は日に何度もなく出かけて見てくるお祭の様子は、園児等にまつては大きな生活經驗の一つになつていろいろの記憶が残る事と思ひます。

その生活經驗を基礎として、一つの遊びに仕組み、いろいろ發表なしつゝ生活して行く事は「靖國神社」に對する精

「神的な感じをも深くする」と同時に、又一層の親しさを伴ふ事と思ひます。

實際生活に於ては、各保育項目との聯絡もこれ、ここに製作に對する興味は深くなり、全園児揃つての共同製作より完成のよろこびへまで進まれると思ひます。當日の餘興、賣買遊びによる社會生活の興味は、賣生活の生活經驗と相俟つて意義深いものになると思ひます。

(三) 計 畫

1、話し合ひ

2、作業(靖國神社模型に參拜者配置)(賣品製作)(露店つくりの手傳ひ)(かざりつけ、餘興其の他諸準備)

(四) 繼續作業時間——二週間(實際は三週間かゝりました)

(五) 保育過程

第一日 話し合ひ

作業開始 賣品製作
餘興練習

第二日 より 作業 賣品製作
餘興練習

第十一日まで 作業 賣品製作
餘興練習

第十二日 作業 賣店かざりつけ
お祭の諸準備
明日からの諸注意

第十三日 〇お祭ごっこ
第十四日 〇お祭ごっこ

(六) 當日の保育過程(九時—十時半)

1、露店のかざりつけ

(年長組一部分にて、其の他の者はおまわり、見物)

(おもちゃ屋三軒、せきものや一軒、あめや一軒、

風船屋一軒、バラシユート屋、旗、風車、其の他)(八

ヶ所に造り晴天の折は庭、雨天の節は廊下、及び保

育室全部使用)

2、賣買ひ遊び開始(二部分づゝ)

3、餘興(男有志の相撲)(女有志の遊戯)

4、おまわり(遊びを終つて一同にてお詣り)

備考

(一) 當幼稚園兒は四月初めに舊園兒僅かに十名のころへ新入園兒六十五名を迎へてより一學期中に六名、二學期になつては九、十、二ヶ月に渡つて二十名を迎へて現在九十七名になり實際保育にあたつては實に困難の状態をつゞけてまゐりました爲、最年長者の作業として豫定した靖國神社模型は實現せず、従つて參拜者の配置も出来ませんで

した。又今回の公開教育延期につれて繼續時間ものばし又途中には七五三祝の生活等入りました爲に氣分の上には随分無理のあつた事と思ひますが最初の試みとして、幼児等も、保姆一同も、共に興味を持つて緊張した愉快な日常生活

活の内に完成の喜びを味はひました。

(二)本日までに費した費用は

消耗品費(紙類繪具、其の他)約參圓

小備品費(布、竹、其の他)約參圓五拾錢

誘導保育の主題としての靖國神社

(當日研究發表の内容)

小學校でも小學校令によつていろいろの教課目が定められて居ります様に、幼稚園でも幼稚園令によつて五つの保育項目が定められて居ります。その保育項目を如何にしたら幼児等に適する様に與へられるか、又どんな風に取扱つたら、その一つ一つの効果が充分にあげられるかといふ研究は今までに方々でなされて來た事で御座います。

一つ一つの項目をその材料においても、取扱ひに於ても充分考へて子供等に適應させて行く事は勿論私共の務で御座いますが、幼稚園の保育計畫としては、それだけでは濟まないと思ふので御座います。もう一步進んでもつゝ深いところへまで考へを及ぼさねばならないと思ひます。各保

育項目の一つ一つが如何によく研究されても、それらをたゞならべて別々にあたへるのみでは保育の本來の使命を果したきは云へません。何よりも大事な事は、それらの項目を如何したら幼児等の自然な生活に結びつけて行かれるかといふ事で御座います。

申すまでもなく幼稚園は幼児を生活させるところで御座います。幼稚園令にも示されてあります様に、遊びを本體として生活させその中でいろいろの期待効果を求めて行くべきで御座います。それにはどうしてもきれいな保育項目の羅列のみでは出來ないと思ひます。豊かな發展性を持つて全我的生活をしてゐる、あの幼児の求めて居るものは

「自由遊びに於ける渾一的生活」であります、「自然の生活形態」で御座います。

しかし保育も教育の一部面としていろいろの目的をも考へねばなりませんので、さかく目的にかたよりすぎる爲に相手の氣持ちも生活も考へずにお膳立てをしてゐる時が多いので御座います。ここに保育者が目的に向つて熱心になればなる程陶冶意識が露骨に表はれて子供の生活をこわしてゐることに氣がつかない時が多いのではないかと考へられます。

まして保育項目の一つ／＼をのみ目ざして行く時には尙更子供の遊びはこわされがちで御座います。昔の様に幼稚園に來た子供が、今日は折紙と唱歌、明日は畫き方と何々といふ様に、きれいな保育項目の材料を次から次へと與へられてかへつても、不平こそ云ひませんし、歌ふとか、踊るとか、畫くとかいふ單純な興味にも引き込まれやすい幼児には別に苦痛も感じてゐなかつたかも知れませんが、幼稚園に來てゐる爲に、大事な遊びの生活はこわされて居たことは云へるかと思ふので御座います。最近では昔の様な

事もなく自由遊びの大事な事が私共保育者には充分わかつてまゐりまして、其の點子供等の爲にはほんまに幸ひな事と思ひますが、又その反面にたゞ自由遊び尊重といふ事の爲にその日暮しの、行きあたりばつたりな保育になりはせぬかと云ふ事は私共保育者自身心配になるので御座います。

そこで私共の務め考へられます事は、幼児等をたゞ自由遊びで満足させておくばかりでなく、もう一步先きへ出て保育項目をうまく幼児等の自然な生活形態に結びつけて、幼児等自身發展出來るやうに誘導して行く事で御座います。これを倉橋先生の御言葉では誘導保育といはれて居ります。

ところが十人や十五人の子供でしたら、それ／＼の遊びをそのまゝ誘導して行けるので御座いますが四十名以上をも一組とする私の幼稚園では各々の自由な生活に結びつけてそれ／＼誘導して行く事は到底出來ない事で御座います、従つて誘導して行く一つの主題と云ふものを考へねばならないと思ひます。

幼児の自由遊びが「断片的」、「刹那的」には見えませんが、ある一つのテーマを持つて發展してゐる様に、保育者が一つの主題を與へて自然な生活形態に誘ひ出し、導びいてやる事は出來得る事で御座います。そしてその中に保育項目も自然に流れ込まれる様な主題であつたら尙更結構だと思ひます。ある主題のみに誘導された、それ／＼の幼児が一つの組織立つた遊びに向つて、全我的生活をする事が出來ましたら：：そしてその生活の中に各保育項目が自然に盛り込まれてゐたならば、ほん／＼に完全な保育が出来る事と思ひます。

各家庭におきまして物質にも恵まれ環境にも恵まれまして充分自己満足をしてゐる幼児であつても、この誘導されるこゝろ事に於きましては、家庭保育では望めない事が多いので御座います。こゝに集團生活を喜ぶ幼児等と同じ主題のみにそれ／＼生活して行く事はそんなに嬉しい事で御座いませう。こゝにも大いに幼稚園の存在價值があると思ふので御座います。

そこで問題となります事は主題の選定で御座います。幼

児の自然生活から取り入れられるのでしたら何でもよろしいと思ひますが、いろ／＼期待する效果の爲には大いに考へねばならないと思ひます。まづ第一に一番自然な生活形態を造り得る様な、幼児の興味に即したものの、實生活に即したものは勿論として各保育項目の期待効果も充分表はし得るものを選ばねばならないと思ひます。しかししたゞ項目のよせあつめになつてはならないのでございます。ごこまでも自然に流れ込まれる様考へねばならないと思ひます。しかし勿論各保育項目の一つ／＼が相當に効果をあげて居りません／＼には誘導された生活も大して發展しない／＼いふ心配が御座います。

こゝが私共の一番苦心するところで御座いまして、一方には聯絡のない各保育項目の効果をのみめざしてはならない／＼考へて居りますのに誘ひ出す誘導保育の發展の爲には相當に効果があがつて居りません／＼困るので御座います。この意味におきまして幼稚園の生活が學令前一年だけでは、とても思ふ様に保育は出來ませんで、少くも二年の年月は必要で御座います。

こゝにかゝりました主題表もその點で實に考へさせられたので御座います。こちらの園では最近一年保育の者が多く、本年などは舊園兒僅かに十名ばかりで御座いまして、殆んどの者が一年の保育で小學校へ送られるので御座います。そんなわけで主題の選定にはずいぶん骨が折れました。一年の間に、各項目の上に効果を求めて行く課程保育も、誘導保育との割合ひをぎんな風にしたらよろしいものやらこの點までく私共のつゞけて行かねばならない大きな研究問題で御座いまして、本日申上げて居りますのは誘導保育案に於ける主題で御座います。

こゝにかゝりました主題が、今まで申しのべてまゐりました誘導保育案のいろ／＼の要件にかなふ事を目標としてたてゝまゐりました事は勿論で御座いますが、ここに私の園でなければ出来ない、そしていろ／＼の幸ひな條件をそなへてゐる主題の一つが靖國神社で御座います。當小學校が日本精神を目標として「皇國愛」の教育を施して居るのに對してもその根本精神をうゑつける何より幸ひな主題で御座います。御覽の通り一ヶ年を通じて、ここに四月から十

二月までは毎月靖國神社といふ主題が特別に澤山盛り込まれて居ります。しかも二學期になりましたは、二週間、又は三週間の繼續を持つて取り扱はれて居るので御座います。これが靖國神社のすぐそばにある私の園の特長とするところで御座いまして又これからの私共の大きな研究問題の一つで御座います。

ほんまに私共の幼稚園は門を出ればすぐ靖國神社の境内の園ひが見える程近いので御座います。園の庭つゞきの様にも感じられて皆がいろ／＼のお道具を持つて遊びに出かけるので御座います。電車道も通らず、道幅の廣いところを時々タクシーが通りますのみで一寸の危険も感じないので御座います。

ここに園に来て居る幼兒等の約半数は境内を通りぬけたり、又近くからまゐりますので歩き始めた時からの遊び場所として親しみをさへ持つて居るので御座います。かういふ環境に置かれた幼兒等が、幼稚園に来る様になりましたからは毎週月曜日には揃つておまゐりに出かける事になつて居りますので、自然のうちに靖國神社に對する精神的な

感じもいろいろ感得する事が出来ますし、おまわりの多い事や、おまわりの人々からうける感化は相當に大きいものがあると思つて居ります。一ケ年、二ケ年の間をかうした生活に送つて居る事は自然の内に皇國的、國家的信念に對する期待効果も、子供ながらに充分あげ得られる事と思ひます。

又都市の子供が、あの境内の自然に親しみ四季にわたる樹木の自然現象は勿論、いろいろの觀察が出来る事は申すまでもありません。ここに秋になつての感じは又一しほで御座います。あの澤山な銀杏の木が同じ場所にあつても、同じ日光の恵みをうけていても、面白い紅葉の順序を見せてくださいたり、かすくの落葉は何よりの觀察材料で御座います。私自身一人でおまわりに出かけます時に、あの日本一の大きな鳥居を通つてまつすぐ神門に向つて進んで行く時には何ともいへない感じで御座います。普通の神社と違ひまして見物かたがたの参拜者は引きもきらず、一層親しさを感じさせられて居りますし、その他富士が見えたり、交通繁華な九段下の様子をながめる時には大東京に住

つて居る喜びも感じられて、こんなに幸ひな環境におかれてゐる私共はほんごに幸福だと思つて居ります。そして尙誘導保育の主題として取り入れる時には充分な期待効果もあげ得られる靖國神社であるといふ事は、主題表の計畫と期待効果を御覽いたゞけばわかつていたゞける事と思ひます。

先程も申上げました通り、私共はこの計畫については益々研究をつゞけて行き、いつかは完全なものにして發表いたし度いご考へて居ります。

今日お目にかきました、お祭ごつこは例祭の終つた後十月二十七日から約二週間の豫定で初められたので御座います、

最初の試みとして、期待するところのいろいろの效果は充分あがつて居らないかも知れませんが子供等が、お祭といふ生活経験のもごにいろいろ発表し合ひ一つの主題に向つて、生きた生活をつゞけてまゐりました事は幼児等の毎日の愉快な様子で察する事が出来ました。たゞ今日の日の爲に完成の日をのばしまして途中七五三祝ひなどの生活を

取り入れました爲に氣分の上には少々無理のあつた事を残念に思つて居ります。そしてこの爲に特別の費用や特別の保姆の勞力をかけます事は度々行ふ誘導保育の爲にも考へねばならないと思ひまして、出来るだけ子供等の製作のまゝを表はし、又廢物等利用等いたしました一寸みすばらしい様にも思ひましたが、ある方から「子供の自然なあらづりなきところが表はれてゐる」を申されてほつこいたしました。

時間のない爲に充分のべられませんで残念で御座いましたが、くれぐれも誤解のない様御了解いただき度い事は、私の園での保育がこゝにかゝつてある誘導保育のみではない事を重ねて申上げます。そして又この誘導保育によつて生活した事がやがて小學校へまゐりましても別の方法で取り扱はれる幸ひな教課が小學校に於て研究されつゝある事を私共初め園兒等一同が喜んで居る次第で御座います。

(大變ながく、紙面を拜借いたしましたして申譯も御座いません)(昭和十一、十二、三)

東京女子高等師範學校

保育實習科生徒募集

本年度保育實習科生徒募集は一月二十日頃の官報に發表せられる筈です。入學御希望の方はその頃の官報を御注意下さい。願書受付は二月一日から同二十八日まで。試験は三月中旬の由です。試験課目その他詳細は官報にて御覽下さい。

『系統的保育案の實際』解説 (十)

生活訓練	倉橋惣三
誘導保育	菊池ふじの
唱歌遊戯	村上露子の
談話	新庄よしこ
觀察	小島光子
手技	及川ふみ

『系統的保育案の實際』は、東京女子高等師範學校附屬幼稚園の編になり、日本幼稚園協會から發行せられてゐる。

一昨年七月以來、既に多大の部數が、全國保育界に普遍し、熱心なる保姆諸君によつて、研究せられ又實施せられてゐる。しかも此の保育案は、舊來の諸保育案、殊に單なる羅列的保育要目と全く異なり、幼稚園保育の本義に立脚して、幼兒の生活に出發し、生活に歸着する、生活系統としての新らしき保育案であるところから、その實施に於ても新らしい研究を必要とする。又、本保育案の各項に就て、尙ほ進んで詳細なる解説を求められることが尠くない。

本稿は、それ等の要求に對して同人相促し、分擔して各項の解説を試みたものである。說いて詳細を盡さないのは素より、私案私説、極めて熱せざるところが多いのを恐れる。たゞ、保育案の表示のみにては一層盡さざるを思ひ、これが理解を助け、實施上の便を加へ得んことを希ふてゐるのである。

尙ほ念のため附言するが、本保育案の本質的中心をなすものは、各項の内容よりも、保育案そのものの立て方にある。内容の選擇排列も亦、一々意を用ひたところであるが、保育案としての根本の建て前を離れては、保育としての活きたる意味が失はれる。従つて、『系統的保育案の實際』を絶えず傍に置かれることなくしては、本解説は正しき用をなすことを得ないであらう。

年少組、第二保育期

——満四歳、満五歳——

生活訓練

第五週

作業中の姿勢は、随分大切な問題である。背骨が曲がる。胸を壓す。眼が悪くなる。一寸考へたゞけでも、こんな重要な問題がある。この他にも多くの悪い影響があるであらう。なかに大したこゝもないでせうかいふ人もあるが、結果が大したこゝであつてもなくても、その注意をするのは、それこそ大したこゝではない。一寸した注意で、それが直せる、それをしないのは、先生方の不親切である。こゝろで、斯うした體姿上の正否は、簡単な習癖であつて、癖さいふものゝ通性上、正しい方が實は心もちがよい筈なのである。一旦悪い癖がつくま、その方がらくにも感じられるが、そこには必ず生理上の不自然が伴ふてゐるの

で、ほんまうには快くない筈のものである。それを正しい方へ歸せば、その矯正間是不快でも、矯正された後は、快くなる。そこを充分考へて、子さも達のために、正しい姿勢の快感を與へてやりたいのである。

それには、机や椅子の高さなさが先づ大事な問題になる。そこに無理があつてはならないが、之れが實は容易でない。組の机腰掛が一齊にはいかないし、個人々々さいつても、月々に成長してゆく子達である。机腰掛も生きてゐて呉れない限り、後へさりのこされるのは免れない。ピヤノ用のやうな椅子では、落ちつきが悪くなり易いし、まあ大抵のこゝろで我まんしなればならない。我まんさいふさいふ、加減のやうだが、そこが、保母さんの細い注意を要

するところである。

第七週

外套を自分で着てボタンをはめるさいふやうのこまは、自分のこまは自分でするさいふ訓練として先づ大事のこまであるが、同時に、その機會いろいろの練習もつくのである。モンテッソリーではいろいろの作業を分解して、それを特別の用具で練習させる。その効果も確にあるが、生活として抽象ださいふこまが私達としては不満足である。あんな分析的な練習的方法によらなくても、平生の具體的實際的生活の中で、いくらかそのいゝ機會が捉へられる。この外套ボタンはめの如きその一つである。

之れは何も外套に限つたこまではない。いろいろの實際生活の中に、それと同様練習價值のあるものが少なくなない。獨立は獨立心ばかりでなくて、獨立力である。もう赤ちゃんではなし、さし／＼いろいろの實際生活をさせるべきである。

第十週

大きい組になつてからの約束さいふが、約束さいふつた

て、なつて見なければ分らないこまも達はいふかも知れない。實にそうである。寧ろ希望さいふの方がいゝかも知れぬ。幼いこまの約束はつまりは希望だからである。約束漢字で書くさいふが、英語でいつてみればプロミッシングで、將來に期する心である。それも何をしまし、何をしてはならない。組が上になつた以上、うつかり大きな聲を出してもならぬ。身體中に糊つけしたやうに行儀よくしなければならぬ。ならぬ／＼。ならぬこまをしなげりやならぬづくめでは、ほんさうにたまらない。將來に期するこまは、斯うもしたい、あゝもしたいの希望である。うれしい希望である。力づけられる希望である。幼児には希望の外何もない。

お休み中の注意だつて同様である。さうも學年の末になるこま、何んの彼んのミ註文を出したがるのが先生の癖であるが、そんなに一々脅さないで下さい。殊に此のお休みは春めき渡る好季節。先生の御注意ばかり、秋めいたり、冬めいたり、わめいたり（これは一寸失言）しては、季節はづれさいふものにならう。

修了式のごき。これは何んでもない注意のやうであるが、年長の組の得る修了、その先輩さのお別れ、お祝ひご送別。こんなごきに初めて出あふのであるごきは、可なり

誘導保育

第四週 旅行

改札口

三寸角位の材木(必ずしも三寸角は限らない、もつこ細くても結構)を、子供の胸位の高さに切つたのを五本ばかり用意する。之を鍵の手に立つ様に工夫する。それにはこの鍵の手の底になる部分に、分厚の板(三寸幅位のもの)を當て、この板の上に三寸角の五本の棒を立てる様にすし、安定に立つ。之の上の方は、底と同じ様に三寸幅位の板を渡せば一番よし、そうでなく横の方へ細い板を、やはり鍵の手に曲つて打ちつけて上の部を固定してもよし、或は、布や麻紐等にて編んだ太い紐等を各々に結びつけてもよし。それから上と下の間にも、今の様な工合にして、も

意味をもつごきといへやう。その意味をさうしたら強めるごきが出来るか、強めるごきつて、幼児らしくすることが出来るか。問題はそこである。

うヶ所固定するごき。こういふのを、も一つ拵へる。

そしてこの二つを向ひ合ひに竝べるごき、改札口ごき云ふ感じが出て来る。この一方の内側の角の所に子供が立つて改札の仕事をする。この柵が出来ると、もう子供等は教へられなくごきもそれごとく部所について遊ぶものだ。

切符賣場

お庭の土の上、又は、お部屋の上の上に立てる様な獨立した切符賣場を拵へてもいゝし、或は机ごき臺ごきの上に乗せる様な小規模のものでもよし、材料の都合で何れごきもきめる。

前者だつたら、正面中央を七〇センチ、兩袖を三〇センチ位の幅、高さは、子供の脊の丈よりも高くしておく。兩

袖はこの切符賣場が安定に立つ爲に、是非必要である。そして下から七〇センチ位の高さの所に窓を開ける。この窓は、現今この切符賣場(都會の驛々)でもする様に、細かく編んだ金網を張り、下から一〇センチ位は、金網を張らずにあけておき、切符を賣つたり買つたりする出し入れ口としておく。

後者の小規模のものは、今の大きいのを、下から六〇センチ位チョン切つたものと思へばよい。この切符賣場云へ、改札口と言ひ、色をぬる方がよい。木地を出しておくとこゝはあまりに粗雑に見えて、氣を荒立てるこゝにもならうかこの懸念がある。

旅行ごつこ
切符、トランク、改札口、切符賣場等が揃ふと、子供達の興味はいよゝ熱して来る。その中にはきつと驛賣りが始められるに違ひない。あの品物を入れて頸から釣下げ、汽車が着く毎に、「新聞、雜誌、お壽司、サンドウイッチ」を呼び歩く様子は、子供達が眞似したいものゝ一つであらうから、小形の木の空箱等を見つけて、兩側に穴をあけ、

こゝから紐を通して下げられる様にしてやるがよい。色を塗つたり、この箱の横の方へ驛の名をエナメル等で書かせるのもよい。

それから、賣る品物も何か工夫してやつて、豊富に、そして丈夫にこしらへておく様に誘導を怠らなかつたら、仕事も相當に長く續くであらうし、之での遊びも、亦かなり長續きする事であらう。

節分

この行事で、鯛の頭や、柗の枝を外戸に挿したりする事は、あまり子供の興味を惹かないかも知れないが、歳男が袴を着て、升に入れた煎り豆を「福は内、鬼は外」ミ、ミなへながら、部屋々に撒いて歩くところは、正に興味の絶頂であらう。そしてお年の数だけのお豆を家中の人々が、お祖母さまも、お父様も、みんなが揃つて食べるなんて、何て嬉しい事であらう。思へば行事云ふ行事は、五月節句にせよ雛節句にせよ、又七夕であれお名月であれ、皆子供をよろこばせ様にして、昔からこゝにいふ習慣を拵へたのかと思ふ程に、これもこれも子供のよろこぶこゝばかり。

私なき田舎育ちのもの、幼時のなつかしい追憶と言へば、皆行事の樂しかつたこと、村祭りの嬉しかつた事ばかりである。いろ／＼と目まぐるしいまでに享樂の機會に恵まれてる都會育ちの人には、それ程クッキリ印象されては居ないかも知れないが。

この面白い豆撒きの行事も是非幼稚園で盛大にし度いものだ。

前々からの用意として、袴や一升袴を作る事。

この用意にはなるべく組全體の子供を參與させる様に注意を拂ひ度い。袴はお手輕に模造紙等で拵へたらさうだらう。上はねずみ色、袴の部は紫色等で。

大體のデザインは先生がする。子供は切り抜いたり、糊で貼つたり、背中や前の紋をつけたりする。

袴は、大體の見當でいゝから木でもつて、四角く、袴の感じの出るものを拵へる。袴の代りにお三寶にしてもいゝだらう。尤も子供達は内心、誰もが歳男になり度がるから、大型の紙を折つて大きなお三寶を澤山拵へ、この中にお豆を入れてみんなにも撒かせたらいい。

お豆は、大豆を煎つて用ゐるのが正式である。大豆には毒鬼を殺す威力があるとか言傳へられてゐるので、鬼を拂ひ、福を招くのこの行事には、大豆でなければ意義をなさないのであらうけれど、摺り餌育ちの幼児のかなりにある常幼稚園の、而も年少組では、遺憾ながら萬全を期して、ボールミカ金米糖ミカを代用する。

當日になつたら、恥づかしがらずに、何處でも大きな聲で「福は内、鬼は外、鬼の目玉ぶつゝぶれろー」を、みなへられる人を歳男に決める。この人に、出来たての紙の袴を洋服の上から着せる。そしてボール（又は金米糖）入れの袴（又はお三寶）を持たせて、主事室、先生方のお部屋、みんなのお部屋、それからさのお部屋もまき、小使室へもまき。みんなも、各々のお三寶に、相應のボール（又は金米糖）を入れて貰つて、歳男と一緒に撒いて歩く。一通り撒き終へたら、お部屋でみんな揃つてお年の數だけのお豆（代用）をいたゞく。

第五週

スキー場

近代生活の生んだ冬のスポーツ、スキーに對しての熱は、都會生活を營む大人の間に猛烈な勢で迫る。その餘波をうけてか、幼稚園期の子供の心にも相當の興味を湧かすものだ。

それで、今は丁度シーズンでもあるしするので、お部屋に備へられてある砂箱を造作して、スキー小屋、スキー人形、旗等をしつらへ小規模のスキー場を作らうとする。

これの期待効果は、共同製作。

繼續作業時間は、二週間。

今週は砂箱の造作。

先づ砂箱に砂を入れて、適當の傾斜を持たせてならす。メリケン粉、白墨の粉等をふりかけて雪に見せかけてもいゝだらうし、綿をちぎつて一面にちらしてもよろしからう。これで砂箱の造作は大體出來た事にする。

第六週

スキー小屋(前週、手技の項参照)

スキー人形(同前)

國旗

會場を賑はす爲の萬國旗(手技の項参照)。

第七週

ひなまつり

雛祭りには、ごこの幼稚園でも、盛大に行はれない所は無いであらう。各地方、各園思ひ／＼の趣向を凝して、之を一年中の一つの大きな行事としてゐるのである。各幼稚園には殆んど一揃のお雛様や雛道具の揃へて居ない所は無い位であるが、更に又幼児にも年毎に製作させて、この日の意義を徹底させて居るのである。

吾が國でも、前々から計畫してこの日の準備をし、いよいよの當日には幼稚園一同、遊戯室のお雛段の前に集ひ、主事のお話を伺つたり、各々の幼児が代る／＼お話をしたり、歌を歌つたり、遊戯をしたりしてお雛様に捧げ、お互同志も打ちまけて一同でお菓子を頂いて楽しむのである。

製作の方も、殆んど毎年、及川先生の考案になるお雛様を幼児と共に製作してゐる。又お部屋々々で共同のを一揃揃へ、各幼児にも一揃つゝ製作させて、この日家庭に持ち歸らしめ、家のお雛段の一部に加へさせるのを常とし

てゐる。

この行事を行ふ事の期待効果は、年中行事の興味、心のやさしみ、手技、それから、個人作業の総合効果、ミ云ふ様のこと。繼續作業時間は、二週間。

この週は

ふくらみ雛(手技の項参照)

唱歌 遊戯

第五週

唱歌 一回

紀元節の歌

これは先生が歌つて聞かせることにする。

遊戯 三回

出してひつこめて(律動遊戯土川五郎氏振)

遊戯をする始めに、歩いて行進する代りに「出してひつこめて」をしながらだん／＼に圓陣をつくつて行くのも興味があつて面白い。

屏風 (手技の項参照)

第八週 ひなまつり

諸道具(手技の項参照)

くす玉(手技の項参照)

雛段の完成ミ雛遊び

だるまさんのにらめっこ(ゲーム遊戯)

「ダルマサン ダルマサン ニラメッコシマセウワラフ

トマケヨ 一、二、三」

ミ歌ひながら遊ぶ。

だるまさんの鬼になる子供が一人圓の中に入り、腕くみをしながら體をゆつたり動かして圓の中を歩き廻るなり、圓の中央に足を組んで坐り込むなり自由にする。圓形にならんだ子供たちは手を連いだまゝ前後に軽く振つてゐる。終りの「一、二、三」の所で、中に居る鬼さんは

好きな相手を「一、二」で指さしてその正面に行き(あな
たミわたしにらめつこしませうミ云ふわけ)「三」で
うんミカんで二人でにらめつこをする。笑つた方が負け
で鬼になる。それを繰り返す。

第六週

唱歌 三回

春よ来い(童謡唱歌名曲全集)

柔かいやさしみのある歌の氣持をこわさない様に、可愛
らしくきれいに歌ひ度いものだ。

お馬

これは歌ミして獨立に取扱ふよりも、遊戯の動作ミ一緒
に歌へばよい。

遊戯 三回

春よ来い(土川五郎氏振)

女兒に向く遊戯

お馬(戸倉ハル氏振)

自由な方向に取扱つて、幾度も元氣よく續ける事が出來
る。

第七週

唱歌 一回

オヒナサマ(エホンシヤウカ)

年中行事の一つミして、殊にお雛祭りは子供たちにミつ
て本當に嬉しく楽しみなものである。自分たちの手で可愛
いお雛様を製作しながら、楽しんでこの歌を歌つてゐる。

遊戯 三回

水兵(律動遊戯土川五郎氏振)

きびしくした動作で大變氣持よくする事が出来る。

第八週

唱歌 三回

キューピーさん

可愛らしく歌ふ様に。

遊戯 三回

キューピーさん

みんなに可愛がられるキューピーさん そのキューピー
さんになつたつもりで、目もパッチリ開けて、両手の指
もパツミ開いて可愛らしく動作をする。

雛祭りのお集り

三月三日はおかざりしたお雛様を中心に、全幼児が遊戯室に集まつて、各組の子供が代るく遊戯をしたり、歌を歌つたり、お話を聞いたりして、楽しい一時を過すことになつてゐる。その後でお菓子を頂くのもうれしい事だ。

第九週

唱歌 二回

ゆりかごのうた(童謡唱歌名曲全集)

ごちらかミ云ふミ、にぎやかに元氣に歌ふ歌ではなく、

靜かな氣持で歌ひたいと思ふ。

遊戯 二回

ゆりかごのうた(記事参照)

これも元氣にミび廻る遊戯ではない。靜かに取扱ひたい。そつと可愛い赤ちゃんをねんねこく、ミねかしてけるやさしい氣持をよく表はしたいと思ふ。女兒はこゝ云ふ種類の遊戯を大變に好む。

第十週

この週は年少組の終りになるので、唱歌でも遊戯でも最初から習つたものを片つばしからして見るのもよし、子供たちが好きだミ云ふのを選び出してしてもよい。

お馬

準備 二人づゝ組み自由な體形をさる。

バカバカバカ、バカバカバカ

二人が前後になり、前者は手を腰にし、後者は前者の肩に軽く兩手をのせる。そして歌に合はせて三回づゝ二度兩足を揃へて高く其の場でミぶ。

オウマガトブヨバカバカバカ

前ミ同じ形に二人組むだま、スキップで自由な方向にミんで行く、最後に兩足揃へてミんでまはれ右をし、今迄後になる者が前になり、前になる者が後になつて又くりかへし行ふ。

ゆりかごの歌 童謡唱歌名曲全集

準備 圓形を作り、豫め二人づゝの組を作

つておく。

前奏 圓形を作り全生圓心を向き手をさる。そして曲に合

る。

ネンネコネンネコネンネコヨ

一番ミ同じ。

四、ユリカゴノユメニ

一番ミ同じ。

キイロイツキガ

談話

一月から二月にかけて、寒さの最もはげしい時で、雪の降る日も多いし、から風の吹くような日もある。従つてお休みする子は病氣をしてゐるからさばかりは限らず、中には用心休みもこの頃は多い時、餘程出席率のいゝ組でも四五人は休んでゐる。殊に年少組では雪でも降つた日、遠方からはる／＼登園して来た子には、「まあ、よく来ましたね」ミいふ言葉でもかけずには居られない程だ。室内に籠る日が多いので、先生は次々ミ豫定を考へておかねばならない。女の子が有り合せの紙で、千代紙づくりを始めるのもこ

両手を左右から大きく上にあげお月様を作る。

カカルヨ

上にあげた両手を左右に軽く動かす。

ネンネコネンネコネンネコヨ

一番ミ同じ。

の頃。折角圖案を考へて、いろ／＼に塗るのに、粗末な紙では氣の毒ミ思つて、一帖ばかり改良半紙をおおれば大よろこびで、模様を工夫する。鉛筆でくる／＼ツミまいて、ちりめん紙なごにもする。男の子は飛行機をさばす。これもせがまれてすぐ興へられるやうに、つゝみ紙、不用雜誌なきを用意しておきたい。かうして手技ミもあそびミもつかぬ事が行はれ談話の方から云へば、この保育案に掲げたものばかりでなく、外のを用意しておかねばならない。その外レコードをかける日もあり、話し合ひを面白く發展

させるにもいゝ時だ。雪の日なき、すつかり積つてしまつて、雪投げ雪だるまに興じられ、ばいゝが、降り盛る時にはそれも出来ないの、窓をあけて、子供と一緒に雪見をする。わが園でいふならば、窓をあけた眞向ひに大公孫樹がたつてゐる。つい先頃この木から落ちた銀杏を拾ひもし、家へのおみやげにもしたこゝから大そう公孫樹は親しくなつてゐる。今は葉もすつかり落ちつくして、上枝下枝が大空にくつきりミ線を糸がいてゐるので、いゝ話題を生んでくれる。

雪の日にこのいてふに雀が澤山さんで来た。

「あら、あんなに雀がこまつてゐる」

「ほんまだ、さつから来たんだらう」

雀は、枝々をさび歩いてゐる。

「雀もお話ししてゐるんでせう。今日は雪が降るので、お庭にだあれも居ないのねつて話してゐるかもしれない」

雀はバツミ一時にさび散つた。さうしたんだらうミ口々に云つて、行方をいつ迄もくながめてゐる。或は又

「先生、先生、あんな處に積木がある」

「橋の上に積つちやつた」

見なれてはゐるものゝ、いつもは自分達がその中にはいりつきりであるので、あらためて、かうして靜かに庭や木を見るのが珍らしいミ見える。昨日しまひ忘れた積木に雪が積つてゐるのも目に留まり、何でも話の種になる。私にしたミころが、家に居て降りつもる雪をながめてゐるさいふのさけさは、追はれる忙しさで許されない。幼児と一緒にあればこそ雀のこまるのもゆつくり見てゐられる、ミひそかに思つたりした。

この間も四人ばかり靴下をすつかり濡らしてしまつて、職員室の火鉢にかはかしに行つた。靴下はかけたあみの上にズラリミ並び、まわりからは、子供の足が火に向つて八本つき出でるで、これだけ見てもおかしくつてたまらないのに、四人が盛んに口角袍をさばして野球談をやつてゐる。りつばに座談會をやつてゐる。この側に居たくてたまらなかつたが、あミの子を放つておくわけにもゆかず、惜しいミ思ひ乍ら給仕さんに頼んで、保育室に来てしまつたが、爐邊のはなしのはつむひのも此の頃だ。設定された保育

案が度々臨時變更される時であらう。

第六週

笑ひ話

別にこの話と決めてあるわけでは無く、一口ばなしとか、おもしろ話とか云ふもので、野卑な意味の無いもの。可笑しくなつてくる氣持が大人と子供とでは違ふので、笑ひ話と銘をつけてさりあげても、一向可笑しがらないのもある。幼い時は意味よりも、音からはいることばに笑はされる。例へばキャンニヤアワンチウコケコッコのくり返しながら、先生が話の次ぎをつづけようと思つても笑ひつけてゐるに云つたわけである。しかし又、先生の方から笑ひ話として、何か決めておかなければならない。年少組としては、よく子供が、川があつてね、こつちからくつが流れて来て、こつちからきうりが流れて来て、きうくつ、きうくつと云つたのよなき、いふ種類の話で、子供が話す。この位の短さで、子供がすっかり覚えてしまつて、すっかり子供自身が話し手になれば笑ひ話としての形になるわけである。

たぎんきやくかん

あるひ、たぎんが、やくかんの家へ行つて、表の戸を

「たぎんく」

きた、きました。

するきやくかんは中で

「やかんましいい、やかんましいい」

と云ひました。(繪本童話第一輯)

これは子供からきいた話。この位の長さなら、内容も言葉も、年少組のほんぎ、その子もおぼえて自分の話として、發表が出来るであらう。

第七週

白墨のお家

東京の大震災に遇つた子供の話。實際にあつた話をもにしてつくられたと見える。こんな話もそろゝ事實談としてあつていゝと思ふ。

第九週

乃木大將

観 察

この頃小さい子供にもわかるように、繪ばなしで、いゝ木が出来てゐる。偉人物語のような話は、その人の偉さをならべたてゝもまだ感銘がうすいから、繪本によるのがいい。

第五週

雪(年長組第一週参照)

豆撒き

年中行事の観察は一般の自然観察よりも一そう生活的であり、郷土色を充分盛る事が出来、さながらの中に観察させ易いものであらう。豆撒きといふ社會観察では一つは豆を撒かせること、もう一つは豆撒きについての事物を注意することの二つである。代りがはるに豆を撒かせること(誘導保育参照)そして豆撒きがすんだらみんな集つて豆撒きについて話し乍ら今まいたお豆は斯ういふのだと注意してみせる。そしてお三寶、その他のものを行事について話し乍ら注意する。年の数だけお豆をたべるのを、何か子ぎもに

い。一緒に読んできかせる。そしてかういふ種類のは、幾日かくり返すのがいゝと思ふ。童話ならそうしないでもいいが、かういふ話はくり返しを必要とする。

與へていゝものがあつたら代りに與へ、數について具體的經驗をさせるのも年少組ならばよいであらう。又生のお豆を水に二三日つけて置き、芽の出るのをみせれば自然観察になつてくる。

第六週

常盤木の葉

多くの木の葉がない時、今も綠色してゐる木、雪が降つても枯れない葉を、少し暖い日、子ぎも達も外遊びの機會にみつけて注意する。これは、若し押し葉で去年の落葉樹の葉があつたなら、葉の性状について比較させてみるよゝい。手近な、松ミか椿ミかの葉である。そして比較したあとで何故丈夫なのかを子ぎも達にわかり易く話してやる。木の幹

木の葉をみるに一しよに木の幹に注意する。外からみた

所が櫻、椿、松等各々がふここ、さんな風にちがふかを注意し、外皮のすぐ下が生きてゐて養分や水が通る事を、生けた花の枝なぎの實物で緑色の部分をみせて話す。この様な材料はいかにも理科的であるから教へすぎない様に、唯

物をぼんやりみない習慣をつけるさいふ様にしなければならぬ。子ぎもの驚異にみちた心の芽を正しく伸してやる爲に大人がまめに心こからだを働かさなければならぬ。

梅の花

花の少い此頃に咲く強い花であるこを話し乍らその香をかゞせる。そしてみんなの知つてゐる花で何の花によく似てゐるかをきいてみる。

第九週

手 技

第五週

自由畫 二回

菜の花

東京邊では土にぢかに咲く菜の花はまだない。けれど桃の花にそへて雛段を飾り度い花であるから桃の花に一しよに觀察させよう。これは草の花である事なき注意してまごがらがふか比較させ乍ら。

第十週

芝の芽

芝のやゝ緑にならうとする氣配に近よつてよくみる。もう下に立派に芽が出てゐる。芝の芽だけでなしに一つ一つ木や草の芽に注意してみさせ度いこのごろ、子ぎも達も、春の近づいて來てゐるこをそれさなき喜びに感ずるのではないだらうか。

自由に二回かゞせる

ぬりゑ 一回

おもちゃがあればトラのおもちやをみてぬらせるのがよいが、そうでなければ適當に保姆がお手本をぬつて見せてぬらせる。

製作 三回

スキー人形

畫用紙にスキーにのつてゐる様な形の人をかゝせて、これにスキーを作つてその上にのせる。一人の幼兒に數個のスキー人形をつくらせる。スチックスはヒゴでつくり、丸いところは畫用紙でつくらせる。

スキー小屋

スキー小屋はボールの空箱を利用してつくる。その屋根の上に綿なごかぶせて雪の積つた様子をあらはす。

第六週

自由畫 二回

電車

乗物の繪本の觀察、幼稚園の近くに電車が見られる便のあるのはよくそれを見せる。

製作 三回

旗

ヒゴを旗さをにして模造紙でつくり、飾り旗は絲にいくつもつゞけて吊して、スキー場を飾る。

汽車

この汽車は保育室の一隅を客車内に仕上て、バックの黑板なごに車窓をあらはしてその感をあらはす位で大して製作さいふほごの事もしないのである。

第七週

自由畫 一回

粘土 一回

汽車

汽車は細長き形に粘土を作つて篋で窓をあけ、車をほるやうにする。箱庭の汽車の様な形のもが粘土がこわれなくてよい。

ぬりゑ 一回

オヒナサマ

お手本ぬりを見せてぬる。

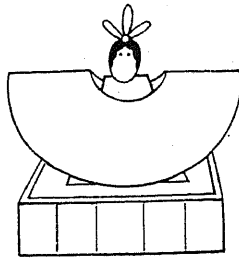
製作 三回

おひな様 ふくらみ雛

これはかつて幼児の教育に手技の材料として掲載した事もあつて御承知のものであるかとも思はれますが

畫用紙に直徑一五センチの外輪ミ、直徑四センチの内輪の二重の圓を畫き内輪だけは切りおきしてしまふ。外輪の兩端に二センチに四センチの耳をつくる。

顔は直徑四センチの圓形につくる。



臺は高さ三センチ半、横二五センチ半、縦七センチの箱を畫用紙或はボール紙にてつくり、臺の側面を赤、緑、黄で彩色する。臺の適當の所に切りこみを入れて、おひな様の外圓の耳を臺にさし込む様にする。

屏風

畫用紙の八ツ切に、桃の花、その他適當の模様を畫かせたり、或は切り紙で模様をはらせたりしてつくる。

第八週

自由畫 二回

製作 四回

おひな様つゞき

一組一齊に出来ないから、ある一グループはおひな様製作に、ある一グループは自由畫、その他の作業にまいる様にして、先週にひきつゞきおひな様製作をする。

内裏雛が出来上れば、櫻橘、くす玉、諸道具なごみ畫用紙或はボール紙にて簡單につくる。

年少組は保育室に一組内裏雛、諸道具、その他のものをつくり、幼児には各自に内裏雛だけ一つづつ、つくる事にする。

第九週

自由畫 一回

雛の節句で家庭で、幼稚園でいろいろとおひな様についての觀察もよく出来てゐる時であるから、雛さいふ題を特に指してかゝせて見る。

缺仕事 一回

桃の花の切り紙

保育室に桃の花を挿しておき、これを見て切らせる、枝は茶色或はみぎりのクレヨンでかゝせる。

粘土 一回

自在につくらせる。

ぬりゑ 一回

ラップスキセン

ラップスキセンが用意出来ればお部屋に挿しておく、な

い時はお手本を見てぬらせる。

第十週

自由畫 二回

粘土 一回

動物の繪本或は寫真なごをよく見せて動物をつくる材料を與へておく。

手足を胴によくつけるやうに、心にヒゴをさしその上を粘土を二重につける事、一度に出来ない時には濡雑巾をかぶせて次の時につけてつくる事なご注意する。

年長組、第三保育期

生活訓練

第六週

幼児にミつて幼稚園生活の終りが近づいて來た。ミ同時

に、小學校入學ミいふ楽しいこゝが近づいて來た。その練習も少しは心がけてやらなければなるまい。

但し、だからさいつて、何も急に幼稚園を小學校にする
こいふ譯ではない。今まで行つて來た訓練が、皆、つまり
は小學校へ役立つ筈のものである。若し、此の期に及んで
事新しい點があるをすれば、子ぎもの心の前に小學校の
樂しみが、あり／＼あるこいふ點であらう。その意味
で、いはゞ、小學校をこいふた風の、多少のましまり
がつけ易いであらう。

第十週

此の保育案では、第十週になつてゐるが、第十一週のこ
ころも、第十二週のこころもあらう。要は、保育の修了週
である。こゝでよろこばしき諸注意がある。悲しき注意
苦しき注意なんてものがある筈はないが、殊によろこばし
きこころわりをつけたのは、先生が、こころによつたら別れ
を惜んで、センチになられ、「もうお別れね。」「いつまでも
覚えてるて下さい。」「いつまた會へるでせう。」「時々思ひ

出して下さいね。」「……ね。」「……ね。」「ね——。」「でしん
みりなさつたりしてはいけないと思つての御注意である。
年月いもし保育して來た子ぎも達が、幼稚園を見捨て、
小學校へ宿がへして仕舞ふ。それが何んで悲しい。わが子
の出世の旅出を送るのにも悲しい顔一つ見せないのが賢母
である。幼児の始めての此の出世、假りにも悲しい顔なん
か見せたら賢母さはいへない。さればこそ、よろこばし
き諸注意である。さいつて、そう一々「よろこばしいのね」。
「よろこばしいのね——。」「さはやし立てなくてよい。幼
兒は先刻既に、よろこばしいのであるから。
さて、解説子も、こゝで系統的保育案の實際の解説が終
つてよろこばしい。すべて、始めたこころが終了するこいふ
こころは、まこころに、よろこばしいこころである。幼兒もめで
たしく。解説子もめでたしく。

第四週

節分

本欄の書き出しに依り、年少組の所で、縷々書きつらねる事をしたが、當園の様な二年保育、又一般の幼稚園の様に、年長組が人数に於ても壓倒的に優勢を示してゐる幼稚園では、袴こしらへも、歳男決めも、年長組の方で盛大に行つた方がいゝ様に思ふ。年少組では、ごく簡単に小規模に自分の組を濟ませ、大きい組がするのを、みんなですつて歩いて見物したらいい。

先づ子供に節分のいわれを話して、この行事を幼稚園でする事に就て相談する。そして年少組で述べた様にして準備、豆撒き、お豆食べ等をする。

お面

實際の豆撒きには、この鬼ミ福の神のお面は必要ではないのであるが、この行事から誘導されて、劇遊びや、エホンシャウカのマメマキの遊戯に使ふ爲にお面を作る。

動物園つゞき

親豚

作り方は、第二週の小豚と同様にして、唯親豚の方は親豚たらしむべく、凡てを大ぶりにミ云ふ心持で。

親山羊

之も亦、第二週の小山羊を、凡ての點に於て少々大ぶりに。

柵

山羊、豚等の様な温厚な動物を入れておく柵、低く、そして立つ様に、つゝかへ棒等を所々につける。

第五週 動物園つゞき

鹿

胴體に林檎等の空箱利用。足のつけ方、頭部のつけ方等は、前の動物と同様にして。

色は茶に、白で斑點をつける。頭部(顔あり角あり)は子供にかいてもらふ。

キリン

足ミ頸を特別に長く、ミ心掛けて。

キリンの柵

第四週の様な柵。只キリンが脊高であるから、この柵も

それに應じて高くする。

第六週 動物園つゞき

らくだ

作り方は前同様。只脊中のこぶを工夫しなければならぬ。如何様にも出来るであらうが、この時は、お砂場等に用ひる小さい笊を、布でおほつて二つ脊中に固定させた。そして全體を駱駝の色に塗つた。

ライオン

大きな顔のまはりに、棕櫚の幹の、外側につけて茶色の毛をつける。大變にライオンらしくなる。作り方は之も前同様。

水牛

親山羊と同じ位の大きさ。作り方前同様。

熊

熊は肥つてゐるから、釘樽を利用した方がすつゝ熊らしくなる。足も太く、短目に。そして全身を眞黒に塗る。

第七週 動物園つゞき

猛獸の柵

ほんたうの動物園ならば、猛獸の柵はいかにも猛獸の柵らしく、二重位にでもするのであらうけれど、幼稚園で拵へる柵に、鐵の棒を使ふわけにも行かず。やはりこの柵は、前のキリンや山羊等の所に拵へたのミ、出来た結果に於ては同じものになるわけである。只、眞似事ではあるけれど、猛獸は猛獸同志同じ柵に入れておく、ミ云ふ意味合での猛獸の柵なのである。現實の動物園で、ライオンミ熊ミ同じ柵の中に入れておくミ言ふ事はあり得ないのであるけれど、ほんたうの動物園の様に、一種類づつを一圍ひにしてもおけないのでこんな事にしたのである。子供も「ライオンミ虎ミ一緒にしておいたら、虎はきつミ食べられてしまふよ」ミ一應は心配するであらうから、實際の事を話して納得してもらふ。

作り方は、前の柵ミ同様。

虎

之もやはり釘樽が似合ふ。足は太く、頸は短くミ言ふ心持で。全身を黄色に塗り、後で黒の縞をつける。

豹

虎ミ殆んぎ同様。縞の代りに黒の斑點をつける。

第八週

雛祭り

動物園の忙しさに、遂にこんなに切迫してしまつたので、

この週はお雛様専門に取りかゝる。年長組は入れ子雛製作。

親王様、おひめ様、三人官女、五人囃、橘、櫻皆同じ様式で出来る。

くわしい作り方は手技の項参照。

第九週 動物園つゞき

象

今までのごの動物よりも大きな空箱を胴體に利用する。

足は相當に肥く、頭は長い鼻を一際目立たせて。最後に色を塗る。

池の水(紙を繪具でぬる)

大判の白の模造紙を水色に塗り、池の圍の中に敷いて池の積りにする。

かこひの杭

構を拵へる時、立つ様にミ工夫を凝したが、この池のか

こひにする杭も、池のまわりに立つ様にせねばならない。

それにはやはり、杭の下部の方へ、板でも打ちつけて立つ

様に工夫するのである。

スワン

池に浮かせるスワン。作り方は手技の項参照。

魚

粘土で作る方がた易いであらう。水族館の時の様に、お

魚の繪を二枚書かせ。中に綿等を入れて両面貼り合せたあ

のお魚にしても結構。

切符賣場

年少組第三保育期、第四週の旅行ごつこの所で作つた様

なのを。その他、こんな形式の切符賣場でも子供はよろこ

ぶ。

動物の餌 手技の項を参照

第十週 動物つゞき

動物園完成

計畫したゞけの動物は出来上つた。動物に與へる餌も出

来たし、こゝで動物園は完成した事になる。そこで、始めの計畫通りに幼稚園の各組へご案内をして見に来て頂く準備にぎりかゝらなければならない。ほんまうの動物園でする様に、動物の名を貼り出して置かなければならない。それから、皆さんに見ていただくにしても、一人々々に入場券を出して来ていたゞいた方が、いかにも動物園へ行つたと言ふ感じが出るので、入場券作りもしなければならぬ。入場券を手に入れたり、動物に與へる餌を得るにはお金も必要。そこでこのお金も用意しておいてお客様に差し上げる。

唱歌遊戯

第五週

唱歌 三回

おもちゃのマーチ(童謡唱歌名曲全集)

可愛らしく元氣に歌ふこと。

それから、各組へご招待状を書く。幼稚園中に、動物園開園を知らせるポスターを貼り出して景氣を添へる。

いよゝ開園の當日になるに、その役割も超満員云ふ盛況なので、目まぐるしい程に忙しい。開園の前日に、お金をあげる人、切符を賣る人、切符を切る人、案内人、掃除人、ゑさ賣り、番人等も、一組總出で働く。見る人達も珍しがつてよろこんで呉れるし、見せる側でも忙しい目をするこゝだけでも嬉しいのに、みんなの悦ぶのを見てはいよゝ張り合が出て来て、盛會裡に、満足裡に今日の開園は終るのである。

歌ふ時の姿勢を注意し、口をよく開けて歌ふ様にさせる。

紀元節の歌

長少組と同じく、やはり先生が歌つて聞かせる。

遊戯 二回

自由 表現「おもちゃ」

おもちゃのマーチの歌にヒントを得て、みんなで自分の好きなおもちゃになつて見よう。相談をする。めい／＼に好きなおもちゃの名前を云ふ。兵隊さん、お人形さん、キュービー、犬、兎、等々。

皆がする事を約束して、一人か二人づゝ出て自由に表現させて見る。大變面白い。曲は例へば兵隊さんなら勇ましい曲、お人形は可愛い曲云ふ様にそれにぴつたりした曲がすぐに弾ければそれに越した事はないが、萬人向きのかはいゝ一曲を弾けばよいことにしておく。

今までも動物園の動物とか、お池の中のものとか其の他色々自由表現の機會を作つてゐたので、誰れもいやがる者もなく喜んでゐる。

この可愛い子供たちの簡単な表現をそのまま生かして、一つのまごまつたものにして見たいと考へて見た。演出的な遊戯で「おもちゃ箱」でも名付けて、極簡単な飾りをつけ、おもちゃ箱から次々に色々なおもちゃがこび出

して來て、それ／＼を表現して見るのも面白いだらうと思ふ。

又その事を子供たちに相談をして、早速それでは云ふので子供たちの手で、めい／＼のおもちゃの衣装をつくる用意をする。

第六週

唱歌 二回

キュービーちゃん(新作唱歌遊戯)

これも本當に可愛いお唱歌。

遊戯 二回

キュービーちゃん(記事参照)

キュービーさんは子供たちに可愛がられるおもちゃである。可愛い振りがついてゐて、目をくり／＼させながらしてゐる様子を見る。尙可愛い。

第七週

唱歌 一回

おさらひ。

遊戯 二回

演出遊戯

春(記事参照)

この頃の時期にもなれば、子供自身の持つてゐる創造的な表現の機会を與へたいと思ひ、この様な題材を選んで見た。

春の野にまだねむつてゐた草花は暖かい陽さしにねむりからさめる。そよ風のまじく花はゆれる。蝶々は舞ひ、子供たちは喜びに満ちてあそぶ。その様な氣持を音の流れにつれて表現する。簡単な飾りをつけてする事に依つて一層感じが出る。

第八週

唱歌 一回

おさらひ

遊戯 三回

演出遊戯

おもちゃ箱(幼児教育三十六卷二月號参照)

おもちゃの簡単な飾りも出來上つた事にて、総合的な

「おもちゃ箱」をやり始める。

丁度お雛祭りの集りを控えてゐるので、その日にして樂しまれる様にミ袴を着た五人囃子を初めとし、まわしを付けたお角力さん、袴を着て烏帽子をかぶつた行司、お面をかぶつたキュービーに、首振り人形、兎、兵隊、舌切雀とお爺さん云ふ色々のおもちゃが揃つた。それがおもちゃ箱から一曲如に一人づつ又は數人づつ繰り出してくるわけ、一曲の間にそれ々の簡単な表現をして、順順に一つの場所に集り、最後に全部のおもちゃが勢揃ひをして「おもちゃのマーチ」を歌ふ。實に愉快的氣持で樂しくする事が出来る。

第九週

唱歌 二回

汽車(童謡唱歌名曲全集)

遊戯 二回

色々なものをする。

第十週

最後の幼稚園生活の楽しみを心ゆくまで味はせたいものと思ふ。

唱歌や遊戯に於ても、年少組の初めつから習つたものを思出して見るさか、好きなものをして、出来るだけ楽しい時を過したいものだ。

キュービービーちゃん

戸倉ハル氏振付
新作唱歌遊戯

準備 二人づゝ向ひ合つて組み圓形又は列

になる。

前奏 両手の五指を開き肘から曲げて掌を向ひ合はせて胸の邊にあげ、すり足でこまかく歩きながら右廻りに自分の周圍を一まはりする。そして最後の音で兩足を左右に喜んで開き手は元氣よく上にのばす。

一、キュービー

前奏で足は左右に開き手は上にあげてあるがそれを高くさぶ事によつて足は揃へ手は前の様に胸のミこころに持つて来る。

ビーちゃん

両手を五指を開いたまゝ胸の邊にあつたのを今度は腰の所に持つて来るやはり五指を開いたまゝで掌を向ひ合はせる。

ハダカンボ

兩手を肘から曲げ胸の所で組み合はす。

ハダカデハダシテ

右足を一步右に開くと同時に右手を右斜下に五指をひろげたまゝでのばす、次に左足を左に開き左手を左斜下にのばす。

ナニミテル

足も手も横に開いたまゝで顔を右にまはしうなづき次に左にまはしてうなづく。

オホキナオメメラ

喜んで兩足を揃へるミ同時に両手でめがねを作り兩方の目にあてる。

バツトアケテ

目にあてた手を元氣よく五指を開き掌を向ふにむけて前にのばす。

アラオドロイタ

右足爪先を一步前に出し體を前にかがめて兩手は五指を開き前下へのばす、すぐに足は元に戻し兩手は肩の前で

掌を前むきに開く。

オドロイタ

同じ動作を左足と左手で行ふ。

二、キュービーピーチャーヤンハダカンボ

ハダカデハダシデナニミテル

一番と同じ

チツチャナオテテラ

右足腫を左足の一步前につけ右手を五指を開き左前に掌を左横にむけて出し上體をかゞめその右手の指の間からのぞき込む様な形をする。

パットアケテ

右手右足は元に戻し左手右足で前と同じ動作をする。

アラオドロイタオドロイタ

一番と同じ。

三、キュービーピーチャーヤンハダカンボ

ハダカデハダシデカハイイネ

一、二番と同じ。

イツテモゴキゲン

二人組むだ中の一方の者は両手を五指を開き腰の所で掌を向ひ合はせ、車の様に軽くまはす、同時に兩膝を揃へて曲げたりのぼしたりする。他方の者は右手人さしゆびを軽く動かしながらゆびさす。

ニコニコト

前と同じ動作を今度は交代して行ふ。

アラカハイイネカハイイネ

前奏と同じ動作であるが今度は自分の周圍を一周するのではなく二人が二人の立つてゐた二點を橢圓形上に結びその圓周を一周する様な形になる。

春

準備 豫め、蝶々、すみれ・たんぽぽ・さくら

草・子供等の配役を定めておくそれ／＼三

人位づゝ一つの役を定めておくこよひ、て

ふくは布にて作りし黄や白の羽を背につ

け、二本のひげをつけた冠をつける、花は

それ／＼花の冠をかむる。子供は美しい髪

飾りをつける。

曲はぎの曲を用ひてもよい。又出場人物も花の種類を多くすれば何人にでも出来る。

一、野原で美しい花が咲き揃つた場面。――凡そ十六呼間――花になつた者がそれ／＼同じ花同志手をこつて曲に合はせて或花はスキップで或花は静かなステップで又或花はランニングステップで次々に舞臺に出て来る、手の組み方も其他すべて一組ごとに變つた表現を自由にさせる。

二、咲き揃つた花が互に語り合つて遊ぶ場面。――凡そ十六呼間――二列の圓形を作り向ひ合ひ内側のは右に、外側の者も右の方へ即ち内側と外側と反對の方向にスキップで元氣に行くこの時行き合ふ者毎に手をこり又離し次の者も手をこり又は又はなすこいふ様にくりかへして行く。そして最後の四呼間で一列の圓に戻り靜かに休む花は皆踞み掌で美しい花の形を作る。

三、休むでゐる花の間を蝶が舞ひ子供が遊ぶ。蝶が舞臺に出て来る少しおくれで子供が元氣に出て来るそして蝶は兩手を羽の如く上下に動かしながら花から花へこまつて行くこの時の蝶はスキップでもよいし。軽いランニング

ステップでもよい。子供は自由な表現で花の間を遊ぶそして最後の四呼間で皆遊び疲れて蝶は花にこまつたまゝ、子供は花の間で眠つてしまふ。

四、皆眠りから醒める。――四呼間――

花・蝶・子供こいふ順に元氣にはね起る。

五、皆一しよに愉快に遊ぶ――三十二呼間――

全部圓周になり圓周上を手をつないで左へスキップで行く、――八呼間――

次に右へ行く、――八呼間――

次にやはり手をつないだまゝ圓心に向つてスキップで進む――八呼間――

靜かに踞む――四呼間――

手をつないだまゝ上に手を高くあげ上體をやゝ後にそらせる。

「この振は一例に過ぎないのでありますから皆様が御自由に振をおつけ下います様御願ひいたします」。

第五週

建國の話

今週は神話が多い。神話こきくも、幼稚園ではむづかしいのでは無いかなき、一寸疑念が起らぬでも無い。それは一般に神様の名が長かつたり、現實はあまり遠々しいこころなきがあつたりして、しつかりこ想念が浮んで來ないのではないかと思はれてつい億劫になつてしまふ。

神話の中でも因幡の白兔や、海彦山彦のやうに一篇が纏つてゐればまことに話しいゝが、建國の話こいへば漠然としてゐるので、適當に選ばねばならない。それには日本童話寶玉集(上巻)の神話篇、中世界の誕生や、國史美談の上巻なきを探して見るこ、建國の話こして材料がある。話方はごく平易に工夫する。伊奘諾伊奘冊の二神が、日本の國の礎を定め、それから淡路島、四國、隱岐、九州なきの島々をつくり出されるこころ、或は又人間の食物を司る神が「飯

よ出る出る」、「魚よ出る出る」、「獸よ出る出る」云つて、是等の品々が、あちこち澤山出て來るこころなきは、面白がる話であらう。

第六週

爆彈三勇士

戰爭のものこして凡そ最も手近な興味深い話であらう。

これがすつこ遠い昔のものならまことに扱ひいゝが、その點は、まこで戰つたのであるかこいふ事については最も云ひ難いので話する時、敵についてはごくあつさりこ扱つておいて、勇士の行動をしつかりこ話しておき度いこ思ふ。

第七週

笑ひ話

年長組になつたので、いくらか意味でわかるおかしさこいふのがあつてもいゝ。「三りんりん」の話は、いつもの集

りの時に誰々はおはなし、誰は唱歌ミ豫め約束しておいた。その日お話しいふ約束の子が、みんなにできかせてくれた話。話そのものも面白いけれどよくこの筋を覚えてられたものミ感心したが、筋が簡單で事柄をくり返してあるからまことに覚えいゝ處もある。

浦島太郎 (幼兒演出)

もうこの頃になるミ、よく見せて貰ふ人形芝居のたいはいはすつかり覚えてしまつてゐる、よほぎ新しいものでもあればちつミ見物してゐるが、さう／＼新しい人形

観 察

第五週

まめまき(年少組参照)

第六週

梅の花(年少組参照)

南天

雪うさぎ等をつくる時この赤い實をつかふ。きれいな赤

芝居を見せるのは實際行ひにくい。そこで舌切雀、浦島太郎などはすつかり筋を覚えてしまつて、見てゐるのよりも自分にやつて見たいのであらう。職員室にいつの間にか子供がはいつて来て、戸棚からさり出して人形をおぎらせてゐる。そこで臺詞まぼりで無くとも、舞臺を室に運んでやつて、人形を與へて、始めは先生が舞臺裏にしがんで指導しながら演出させる。これをくり返す中に自分達だけでも出来るようになるようにする。

可愛い、實を斯うした遊びに使ふこころはうれしいこころだ。

第七週

第八週

年少組参照

第九週

物さし、秤

いよ／＼小學校へゆく日が近づいた。大きくなつたミ

ふ喜を具體的にみるこいふこ大げさで理窟つぼくなるが一日ゆつくりこ背丈こ重さを子こも達こいしよにはかつてみる。長さや重さを或單位で測るこいふこはまだむづかしい概念である。が目盛によつて大小輕重のあるこは數字で示してあるこでわかるのでそのよみ方を話し、各自

手 技

第五週

自由畫

アルバム表紙(繪具にて)

アルバムの表紙をかゝせる。材料は紙でも布でもよい。

紙の時には繪具でかゝせるこひきたつてよい。布の時にはクレヨンで畫いて、あこでアイロンをかけておく。

アルバムの表紙は出来るだけ個人ノノによく指導してかかせたいものであるから數人づゝにしてその他の幼兒は自由畫帖にかゝせたり自由遊びをさせたりする。

製作(動物園つゞき)

のを測つたらよく判るやうに黑板へなり紙へなりみんなのをかいてみる。そして大小を比較し、又出来れば小さい組に入つた時こ比べてみただけのびたか、みただけ重くなつたかを知らせる。背ならば實際にこれだけこ長さで示して見せる。この觀察は實際に興味深いものである。

鹿、キリン、キリンの柵

鹿、キリンはこれまでの動物通りに箱の蓋なごに顔だけかゝせて、胴の木の空箱でつくる。

柵なごは空箱の部分をこつてつくる事にする。

第六週

粘土 一回

動物の自由製作

ぬりゑ 一回

アネサマ

アネサマをつくられば、つくつて千代紙なごの着物を

きせる。お人形の出来ない時はぬつた手本をみてぬら
せる。

製作 五回

動物のつゞき

ラクダ、ライオン、水牛、熊など前週の動物同様につく
る。出来上つた種々の動物を泥繪具で色ぬりをする。

演出遊戯「おもちゃ箱」の材料

キュービーのお面

兵隊の劍

すゞめの羽

右の品々畫用紙或はボール紙にて製作するお面は幼児の
顔の大きさに合せてつくり、兵隊の劍は程よき長さにし
る。

すゞめの羽は幼児に合せてつくる。

第七週

製作 「演出遊戯おもちゃ箱」の材料

五人囃の袴

雀の帽子

軍配

兵隊

帽子

烏帽子

行司袴

兎の耳

ろば

右のものを適當につくる。各種一組づゝ作ればよい。

動物

獸の棚、虎、豹、なぎつくる

つくり方は前述他の動物と同じ

第八週

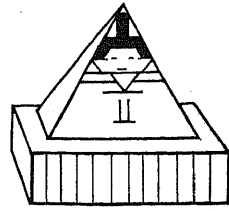
ぬりゑ

オヒナサマ

製作

入れ子びな 二回

これはかつて「幼児の教育」誌上で掲げた材料であるが正
六角形を畫きその四面をつかつて、方錐形をつくつて形を



つくる。用紙は模造紙でも伊與

柁でもよい。同形で、内裏、三官

女、五人囃、櫻橘なぎをつくる、

色だけかへてつくればよい。

演出遊戯「春」の材料 二回

蝶々の羽、花の冠、子供の髪飾

蝶々の羽はボール紙に色の模造

紙をはつてつくる。

花の冠はクレームペーパー或は模造紙で花瓣をつくり、

花瓣の集りはボール紙で受ける様につくる。

子供の髪飾は種々色の美しき模造紙にてベレー帽形につ

くりかぶせる。

第九週

粘土 二回

水鳥の餌を粘土にてつくる、小ざかな、きじうなぎつくる。

製作 五回

スワン、動物の餌、パン、人參、芋、象なぎ動物園の完

成に急ぐ。

動物の餌はものによつては粘土でつくつた方が感の出る

ものもあり、紙でつくつたものが實感のあるものもある

ので適當につくる。

切符の賣場はあり合せの衝立をたて、つくればよい。

第十週

自由畫 二回

模造紙を出來だけ大きく用ひて幼児に自由にさまざまの

動物の畫をかゝせる。

簡單に文字もかゝせて動物園開園のポスターをつくる。

數枚つくつて幼稚園の諸所にはりつける。

製作 三回

入場券、お金づくり

入場券は畫用紙でづくりお金はボール紙にてつくる。

新刊

日本幼稚園協會編

幼稚園談話集

菊版三五〇頁

定價金壹圓五拾錢

郵稅

東京市內 金六錢

地方・北海道

臺灣・樺太 金拾錢

朝鮮・滿洲

さきに發行せられた東京女子高等師範學校附屬幼稚園編『系統的保育案の實際』は非常の歡迎を受け、既に多數の方々により研究せられ又實施せられても居ります。就いてはその中に用ゐてあります談話につき、便宜一まごめにした書物がないかこの御要求が澤山ありますので、此の談話集を編纂發行致しました。右保育案を御使用の方は素より、そうでない方にも、幼稚園談話選集として極めて御便利のものご信じます。實際御使用のために定價も普通の市價の標準を離れて、出来るだけ廉價にいたしました。本會の趣旨のあるところをお汲み取りいたゞけば幸いです。

三版

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

系統的保育案の實際

定價 金壹圓

送料 金四錢

一 保育案の實際は幼稚園必須の資料
一 東京女子高等師範學校附屬幼稚園現行の保育の實際は各幼稚園好箇の參考
一 待望の本書を全國幼稚園保姆諸君に勧む

發行所

日本幼稚園協會

東京市小石川區大塚町卅五番地
東京女子高等師範學校附屬幼稚園內

振替東京一七二六六番

○定價及郵稅を添へ本會宛直接御註文下さい。

日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 下村 壽一
 主幹 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣三
 附屬幼稚園主事 倉橋 惣三

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼児教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タルラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼児教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ケ
- 第五條 令聞ニ望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時總會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
 - 一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査
 - 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習會ノ開催

- 一、雜誌發行(毎月一回)
 - 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
 - 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
 - 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認ムタル事件
- 會ノ開催
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 會長 一名 會務ヲ總理ス
 - 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
 - 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
 - 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス
 - 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
 - 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
 - 第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
 - 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

定規文注

- 一、本誌御注文の方は凡て前金(郵送共)で願ひます。(郵券代用の場合には總て一割増)
- 一、御送金の場合はなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。
- 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたり。
- 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。
- 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたします。其節は早速御送金を願ひます。
- 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

製複許不 載轉禁

發行所

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
 東京市小石川區大塚町三十五
 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
 印刷所 柴山 則 常
 東京市本郷區駒込林町百七十二番地
 印刷所 倉橋 惣三
 東京市本郷區駒込林町百七十二番地
 印刷所 倉橋 惣三

價定

一月分金參拾五錢
 半年分金貳圓拾錢
 一年分金四圓貳拾錢
 拾貳冊送附料共

特等面一頁二面一頁
 金貳拾圓金拾圓
 一等面一頁一頁以下
 金拾五圓御斷
 神田區駿河臺一丁目五番田
 廣告社に御申込下さい

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)
 昭和十二年一月十五日印刷納本
 昭和十二年一月十五日發行
 幼兒の教育 第二十七卷 第一號

好評 八版

東京女高師教授 附屬幼稚園主事

倉橋惣三 先生 著

▲四六版三百餘頁頗多美本
▲口繪十六枚・挿繪多數人
▲保育法の實際實景紹介
▲定價二圓五十錢・送料十六錢

幼稚園

保育法と眞諦

▲日本のフレイベル倉橋先生が保育法の眞諦即ちコツを悉く披露し盡されし名著

三版 東京女高師教授 倉橋・新庄共著 本日幼稚園史 價三・八〇 送〇・二〇

三版 東京女高師教授 堀七藏先生著 幼稚園保育の諸問題 價二・八〇 送〇・一六

五版 倉橋惣三先生序 內山慈堂先生著 兒童話の話方と實例 價二・八〇 送〇・一六

▲四六版三百八十頁頗る美本
▲美麗寫眞挿繪二十一枚
▲海外幼稚園事情紹介
▲定價二圓八十錢・送料十六錢

増訂 十六版

奈良女高師教授 附屬幼稚園主事

森川正雄先生 著

▲四六版三百八十頁頗る美本
▲美麗寫眞挿繪二十一枚
▲海外幼稚園事情紹介
▲定價二圓八十錢・送料十六錢

▲四六版三百八十頁頗る美本
▲美麗寫眞挿繪二十一枚
▲海外幼稚園事情紹介
▲定價二圓八十錢・送料十六錢

幼稚園の理論及實際

幼稚園の理論及實際 諸問題を系統的に説き

八版 奈良女高師教授 保姆用 教育學 價二・八〇 送〇・一六
六版 森川正雄先生著 育兒法 價二・〇〇 送〇・一六

八版 奈良女高師教授 森川正雄先生著 幼稚園の經營 價二・八〇 送〇・一六

五版 奈良女高師教授 橫井費一先生著 手技資料と扱法 價二・八〇 送〇・一六

▲四六版三百八十頁頗る美本
▲美麗寫眞挿繪二十一枚
▲海外幼稚園事情紹介
▲定價二圓八十錢・送料十六錢

東洋圖書株式會社

東京市神田區保町一丁目 電話 三〇七番

お子様の満悦100%の手技用品

及 表 簿 類

◇菱形——赤白草三色の菱餅を重ねたやうな厚紙裏紙に、チリメン摺紙で
難を折つて貼ります。 菱 形 五十枚 金一圓五十銭

縮 緋 [大15cm×14cm 一〇〇枚包一把 金五十銭
摺紙 {小12cm×12cm 一〇〇枚包一把 金三十銭

◇屏風形——雛祭り又はお人形遊び用、金屏風の華麗なもの、これに貼紙
の櫻その他を以てお子様方に美事な意匠ができます。 五十枚 金一圓五十銭

◇繪馬類——厚紙で作つた繪馬類、クレオン貼紙等でお子様御自身が
ろく意匠する大歓迎の手技用品。 五十枚 金一圓

◇保育證書——厚い堅緻な上質紙に文字を墨、周圍輪廓を金刷と優雅な色
刷にした新圖案のものとあり、そして姓名年月日を書き入れるやうにな
つてゐます。御園名入のものは二月末日迄に御註文、無名ならば何枚に
ても即時お間に合ひます。

御園名入の保育證書
二月末日迄
に御註文下さいませ

- 一〇〇枚園名入 金 四圓
- 五〇枚園名入 金 二圓五十銭
- 無名一枚 金 五銭
- ◇出席簿用紙 一〇〇枚 金 一圓
- ◇豫定案日誌 一冊(一年分) 金 一圓二十銭
- ◇左籍簿用紙 一〇〇枚 金 八圓十銭
- ◇月謝袋 一〇〇枚 金 一圓四十銭
- ◇出席カード (十二枚一組) 一人一ヶ年分 金 十銭



株 式 會 社 フ レ ー ベ ル 食 館

社 本 所 張 出
東 京 神 田 二 町 保 神 (33) 話 電 三 六 六 二 番
大 阪 區 東 區 五 町 後 備 (34) 話 電 一 三 九 八 番

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
昭和十二年一月十五日印刷納本
昭和十二年一月十五日發行

定 價 三 十 五 錢